

WIPO/SCCR権利の制限と例外に関する各提案資料（和訳・原文）

※この資料は、文化庁からの依頼により、(株)エアクレーレンが公表資料を和訳したものです。参考のための仮訳であり、条文の解釈に影響を与えるものではありません。

WIPO

SCCR/18/5

原文：英語

日付：2009年5月25日

世界知的所有権機関

ジュネーブ

著作権・著作隣接権常任委員会

第18回会合

ジュネーブ、2009年5月25日～29日

制限及び例外に関するブラジル、エクアドル及びパラグアイの提案：

世界盲人連合（WBU）の条約案

事務局作成文書

本文書の附属文書には、2009年5月25日付の覚書と共に受領した、制限及び例外に関する著作権・著作隣接権常任委員会（SCCR）のアジェンダ第5号に関してブラジル、エクアドル及びパラグアイが提出した提案が記載されている。

[以下、附属文書]

SCCR/18/5

附属文書

1. 国際貿易機関（WTO）ブラジル政府代表部、在ジュネーブ国際連合・国際機関エクアドル代表部、及び在ジュネーブ国際連合・国際機関パラグアイ代表部は、国際局に挨拶を述べ、文書 SCCR/16/2 に示されたもののうち、障害者、図書館及び文書館、教育活動、及び技術革新の促進に関する、著作権の例外及び制限の分野における規範設定行為の例として、アジェンダ（「例外及び制限」）第 5 号に基づき、著作権・著作隣接権常任委員会の次回第 18 回会合で議論されるべき添付の案を提出する光栄を有する。
2. 添付文書は、盲人、視覚障害者その他の読字障害者による保護対象著作物へのアクセスを円滑化及び促進しうる方法及び手段を示した、国際盲人連合（WBU）の条約案である。ブラジル、エクアドル及びパラグアイは、視覚障害者などの障害者がアクセシブルな著作物にアクセスし、これを公開及び頒布することを認める制限及び例外を、慎重な審議が必要であるが、遅滞なく議論する価値を認識する。
3. そのような取り組みを行うことにより、世界知的所有権機関（WIPO）は、既に文書 SCCR/16/2 で述べられているように、社会的に最も弱い立場にある層又は最も社会的優先順位の高い層の知識へのアクセスを強化する必要に対処するために国際連合が行っている活動に沿って行動することになろう。また、ブラジル、エクアドル及びパラグアイは、制限及び例外に関する公式協議の設定が、特に文書 SCCR/16/2 で述べたような規範設定に関連するものなど、開発アジェンダの広範な目的に寄与するであろうことも尊重する。
4. 国際貿易機関（WTO）ブラジル政府代表部、在ジュネーブ国際連合・国際機関エクアドル代表部、及び在ジュネーブ国際連合・国際機関パラグアイ代表部は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて国際局に敬意を表する。

2009 年 5 月 25 日 ジュネーブ

SCCR/18/5

世界盲人連合案

盲人、視覚障害者その他の読字障害者のアクセス改善に関するWIPO条約
2008年10月23日

前文	2
第1条 目的	3
第2条 義務の性質及び範囲	4
第3条 他の条約との関係	4
第4条 著作権に基づく排他的権利の制限及び例外	5
第5条 謝辞及び著作者人格権	6
第6条 技術的手段の回避	6
第7条 契約との関係	6
第8条 著作物の輸出入	6
第9条 著作物の商業目的での複製及び頒布に関する権利者への通知	7
第10条 著作物の利用可能性に関するデータベース	7
第11条 著作物の商業的実施に対する対価	7
第12条 権利所在の不明な著作物	8
第13条 プライバシーの尊重	8
第14条 著作権の保護を受けないデータベース要素に適用される制限及び例外	8
第15条 対象となる障害	8
第16条 追加の定義	8
第17条 締約国会議	9
第18条 選択議定書	10
第19条 留保	10
第20条 監視及び施行	10

前文

締約国は、

社会のあらゆる層での機会均等化の過程におけるアクセシビリティの重要性を認め、
全盲者、弱視者その他印刷著作物へのアクセスに関する障害を有する者が経験する、情報通信へのアクセスを阻む多くの障壁を認識し、
視覚障害者の90%が中低所得国に居住することを認識し、
視覚障害者に対して情報通信への完全かつ平等なアクセスを提供することを希望し、

国際的性質を有する技術公表や通信のためのプラットフォームなど、新たな情報通信技術の開発がもたらす、視覚障害者にとっての機会と課題を認め、

他の障害者の一部も同様の機会と課題に直面していることを認め、

国境を越えて、さらに、あらゆるメディアを通じて、情報及びアイデアを模索し、受領し、そして伝達する必要性を認め、

著作権に関する各国の国内法令が属地的であり、活動が管轄地域を越えて行なわれる場合には、活動の適法性に関する不確実性によって、視覚障害者の生活を向上させ得る新たな技術及びサービスの開発及び利用が阻害されることを認識し、

経済的、社会的、文化的及び技術的な発展がもたらす課題及び機会について適切な解決策を与えるため、新たな国際的な規則を導入するとともに現行の規則の一部についてその解釈を明確にする必要性を認め、

文学的及び芸術的創作のインセンティブとして、また、地域社会の文化的生活に参加し、芸術を楽しみ、そして科学的進歩とその恩恵を共有するための機会を誰もが持つことを確保するための手段としての著作権保護の重要性を強調し、

出版者がその著作物を出版時点で障害者にアクセシブルな状態とすることが理想であり、さらに、これが行なわれない場合には代替的な対処手段が必要であることを認め、

ベルヌ条約に反映されているように、著作者の権利と特に教育、研究及び情報へのアクセスのような広範な公共の利益との均衡を保つ必要があることを認め、

以下のように合意した。

第1条 目的

本条約は、全盲者、弱視者その他の読字障害者の他者と平等で完全かつ実効的な社会参加を支援し、かつ、これらの者の利益のためだけでなく社会の充実のためにも、これらの者の創造的、芸術的及び知的潜在能力を開発及び利用する機会を確保するために、全盲者、弱視者その他の読字障害者にアクセシブルなフォーマットでの著作物の公表及び頒布に必要な手段に特に重点を置きつつ、視覚障害者又はその他著作権のある著作物を読むことについて障害を有する者による情報通信への完全かつ平等なアクセスの確保に必要とされる、著作権法令の必要最低限の柔軟性をもたらすことを目的とする。

第2条 義務の性質及び範囲

- (a) 締約国は、視覚障害者又はその他著作権のある著作物へのアクセスに関する障害を有する者が情報通信に完全かつ平等にアクセスできるようにするための一定の措置を実施することに同意する。
- (b) 締約国は本条約を実施する。
- (c) 締約国は、国内の法制及び法律上の慣行の範囲内で本条約の規定を実施するための適当な方法を決定することができる。(TRIPS協定第1条と同様の文言)

- (d) 締約国は、本条約の規定に反さないことを条件として、本条約において要求される保護よりも広範な視覚障害者及び読字障害者に対する保護を国内法令において実施することができるが、そのような義務を負わない。(TRIPS協定第1条と同様の文言)。
- (e) 本条約の実施は、発展途上国の有する優先課題及び特別のニーズに加えて締約国の開発のレベルの違いを考慮に入れ、開発を志向しつつ透明に行わなければならない(WIPO開発アジェンダ)。
- (f) 締約国は、本条約の実施によって、それ自体が正当な利用に対する障害とならず、公正かつ公平であり、かつ、不必要に複雑であるか若しくは費用を要するものでなく、または不合理な期間、期限若しくは不当な遅延を伴わない迅速な手続を含む、本条約の適用対象であり許容される措置の適時かつ実効的な行使を可能とするよう確保しなければならない。(TRIPS協定第41条と同様の文言)

第3条 他の条約との関係

- (a) 締約国は、本条約の規定が、その加盟する以下の条約及び協定の規定で定められた義務と両立することに合意する。
 1. 文学的及び美術的著作物の保護に関するベルヌ条約の1971年7月24日のパリ改正条約(ベルヌ条約)
 2. 1996年の著作権に関する世界知的所有権機関条約(WCT)
 3. 1961年10月26日にローマで締結された実演家、レコード製作者及び放送機関の保護に関する国際条約(ローマ条約)
 4. 1996年の実演及びレコードに関する世界知的所有権機関条約(WPPT)
 5. 1994年の知的所有権の貿易関連の側面に関する協定(TRIPS協定)
 6. UNESCOの文化的表現の多様性の保護及び促進に関する条約
 7. 国連障害者の権利条約第21条及び第30条(但し、これらに限定されない。)
- (b) 締約国は、本条約がベルヌ条約で定義される文学的及び美術的著作物に適用される限り、ベルヌ条約によって設立された同盟の同盟国である締約国については、本条約がベルヌ条約第20条に規定する特別の取極を構成することを認める。

第4条 著作権に基づく排他的権利の制限及び例外

- (a) 以下の要件が全て満たされる場合には、著作権者の許可なく、著作物のアクセシブルなフォーマットを作成し、また、当該フォーマット又はその複製を、非商業的貸与又は無線若しくは有線の電気通信の方法などの手段を用いて視覚障害者に提供すること、さらにこれらの目的を達成するために中間的手段を講じることが許されなければならない。
 1. 本規定に基づく行為を行うことを希望する個人又は団体が、当該著作物又は当該著作物の複製につき適法なアクセスを有すること。
 2. 当該著作物がアクセシブルなフォーマットに変換されており、当該フォーマットには

情報をアクセシブルなフォーマットでナビゲートするのに必要な一切の手段が含まれるが、当該著作物を視覚障害者にアクセシブルとするために必要な変更以外の変更が生じていないこと。

3. 当該著作物の複製が、視覚障害者による利用の目的でのみ提供されること。
 4. 当該行為が営利を目的とせずに行われること。
- (b) (a)項に基づく行為の結果として有線又は無線の方法により著作物の伝達を受ける視覚障害者は、本人による個人利用の目的に限り、かかる著作物を著作権者の許可なく複製することが認められる。この規定は、享受が可能な他のいかなる制限及び例外にも影響を及ぼすものではない。
- (c) 以下の要件のうちいずれか一つが満たされる場合には、(a)項に基づく権利は営利団体に対しても適用が可能となり、また、アクセシブルなフォーマットの複製の商業的貸与も認められるよう拡大される。
1. 当該行為が営利を目的として行われるが、但し、かかる利用が、著作権者に対価を支払うことなく認められる、排他的権利に対する通常の例外及び制限に該当する範囲に限られていること。
 2. 当該行為が、視覚障害者に対して他の者と平等に著作物へのアクセスを拡大するという目的に限定して、営利団体によって営利を目的とせずに行われること。
 3. アクセシブルなフォーマットにしようとする当該著作物又は当該著作物の複製が、視覚障害者のアクセスを可能にする同一又はほぼ同等のフォーマットにて合理的に入手可能でなく、さらに、このアクセシブルなフォーマットを提供する団体が著作権者にかかる利用を通知し、かつ著作権者に対する相当の対価が提供可能であること。
- (d) 著作物が(c)項(3)号に定める合理的に入手可能であるかどうかを判断する際には、以下の事項を考慮しなければならない。
1. 先進国については、当該著作物がアクセシブルであって、かつ、視覚障害のない者に提供される当該著作物の価格と同等又はそれより低い価格にて入手可能でなければならない。
 2. 発展途上国については、当該著作物がアクセシブルであって、かつ、視覚障害者の所得格差に鑑み低価格にて入手可能でなければならない。

第5条 謝辞及び著作者人格権

- (a) 第4条に基づくいずれかの行為の結果として、著作物又は著作物の複製が視覚障害者に提供される場合、第4条に基づく行為を行う個人又は団体が適法なアクセスを有する著作物又は著作物の複製に記載されているとおりに、その出典及び著作者の氏名を記載しなければならない。
- (b) 第4条に基づき認められる利用は、著作者人格権の行使に影響を及ぼさないものとする。

第6条 技術的手段の回避

締約国は、第4条に規定する例外の受益者が、技術的保護手段が著作物に講じられている場合、必要に応じて当該著作物をアクセシブルにするために技術的保護手段を回避する権利を含めかかる例外を享受する手段を有することを確保しなければならない。

第7条 契約との関係

第4条に規定する例外に反する契約の規定はすべて無効とする。

第8条 著作物の輸出入

以下の事項が、第4条に定めるすべての関連条件が輸出国及び輸入国において適宜遵守されていることを条件に、著作権者の許可なく認められなければならない。

1. ある国の個人又は団体が第4条に基づき保有又は作成する権利を有する著作物又は著作物の複製の一切のバージョンの、他の国への輸出
2. 他の国において第4条の規定に基づいて行動することができる個人又は団体による、著作物又は著作物の複製の当該バージョンの輸入

(注：SCCR/15/7、サリバン報告書、ページ119-121を参照)

第9条 著作物の商業目的での複製及び頒布に関する権利者への通知

第4条(c)項(3)号に基づく視覚障害者のための著作物の複製及び頒布を伴う場合、著作権で保護される著作物の所有者に対する通知を行うため、合理的な努力を払わなければならない。かかる通知には、以下の事項を記載しなければならない。

1. 著作物を複製する権利及び頒布する権利を行使する当事者の名称、住所及び関係する電気通信連絡先情報
2. 当該著作物が頒布される国及び頒布の条件を含む、著作物の利用の性質
3. 当該利用が視覚障害者のみを対象とするよう充分に限定されていないこと、又は当該著作物が視覚障害者による知覚が可能な同一又はほぼ同等の形式で事実上合理的に入手可能であることを理由に、著作権者が当該著作物の利用の対価を取得しあるいは当該利用に異議を申し立てる権利に関する情報

第10条 著作物の利用可能性に関するデータベース

(a) WIPOは、著作権者が本条約第9条の通知義務を容易化する目的で著作物を自主的に特定することを可能にし、さらに、視覚障害者による知覚が可能なフォーマットでの著作物の利用可能性に関する情報を提供するための、インターネットその他の手段を通じたアクセスが可能なデータベースを構築しなければならない。

(b) WIPOは、出版者及び視覚障害者との協議を経て、データベースに登録された著作

物を一意的に識別するための標準的機械可読コードを当該データベースに含めることを確保しなければならない。このコードは多様なフォーマットで公開される著作物における利用に適していなければならない。

第 11 条 著作物の商業的実施に対する対価

- (a) 締約国は、第 4 条(c)項(3)号の施行にあたり、自主的合意がない場合に著作権者に支払われるべき相当の対価の水準を決定するための制度を確立しなければならない。第 4 条(c)項(3)号に基づく相当の対価の決定にあたっては、以下の原則に従わなければならない。
- (b) 著作権者は、第 11 条(c)項の要件に従うことを条件として、著作物の利用が行われる国、利用者及び利用目的に通常関係する条件を考慮し、著作物の通常の商業的利用許諾に相応する対価を受ける権利を有する。
- (c) 発展途上国においては、対価の額の決定にあたり、著作物をアクセシブルな状態とすること、及び、視覚障害者の所得格差に鑑み低価で入手可能とすることを確保する必要性も考慮に入れなければならない。
- (d) (a)項に基づく対価が、ブライユ点字法などの特定の形式の著作物又は一定の資格を有する団体について免除されるか否かの判断は、国内法令で定めるべき事項とする。
- (e) 国境を越えて著作物を頒布する者は、ある国における対価制度が本条約の要件を満たし、透明性に関する著作権者の当然の懸念を解決するものであり、かつ、対価が、国際的に頒布される著作物の全世界的な利用許諾として、又は、特定の国における著作物の利用許諾であって著作権の利用が行われる当該国、利用者及び利用目的に応じて調整されたものとして、妥当とみなされる場合、かかる国において対価支払に関する登録を行うことを選択することができる。

第 12 条 権利所在の不明な著作物

- (a) 著作者又は著作権者が特定できず、又は通知に応答しない場合に、著作物の一定の商業的利用について対価の支払いを義務づけるかどうかの判断は、国内法令で定めるべき事項とする。
- (b) 著作権者が特定できず、あるいは通知に応答しない場合、著作物の利用に関する責任は、利用の日から 24 ヶ月を超えないものとする。

第 13 条 プライバシーの尊重

締約国は、本条約の施行にあたり、他の者と平等に、視覚障害者のプライバシーを保護しなければならない。(障害者の権利に関する条約第 22 条より)

第 14 条 著作権の保護を受けないデータベース要素に適用される制限及び例外

本条約の規定は、著作権の保護を受けないデータベース要素に準用される。

第15条 対象となる障害

(a) 本条約の適用上、「視覚障害」者とは、以下のいずれかの者を指す。

1. 全盲者
2. 視覚障害のない者と実質的に同等の視覚機能を与える矯正眼鏡の利用によっては改善できない視覚障害を有する者であって、そのために、障害のない者と実質的に同程度には著作権のある著作物にアクセスできない者

(b) 締約国は、他の障害を有しており、その障害のため、障害のない者と実質的に同程度に著作権のある著作物にアクセスするためには第4条に基づき作成が可能な種類のアクセシブルなフォーマットを必要とする者に対しても、本条約の規定の効力を及ぼさなければならない。

第16条 追加の定義

本条約の適用上、

「著作物」とは、著作権が存在し得るあらゆる種類の著作物を意味し、かかる保護が国内法令によって与えられるか、又は過去に与えられていたが満了しているかを問わず、また、文学的、演劇的、音楽的及び美術的著作物並びにデータベース及び映画を含む。

「著作権者」とは、著作権が存在せず、あるいはすでに失効している場合であっても、排他的権利の行使又は他の手段によって、著作物へのアクセスを管理することができる個人又は団体を含む。

「排他的権利」とは、第4条その他において確認されている他の合意に従って付与される権利を意味し、これには、複製権、翻案権並びに有線又は無線の方法による公衆への頒布及び伝達の権利が含まれる。

「アクセシブルなフォーマット」とは、視覚障害者又は読字障害者に著作物へのアクセスを提供する代替的な手段又は形式を意味し、これには、視覚障害者が、視覚障害のない者と同様に柔軟かつ快適にアクセスできるようにするものが含まれる。

「アクセシブルなフォーマット」は、必要に応じて許可される様々な書体及び大きさの大型活字、点字、音声録音、スクリーンリーダー又は点字ディスプレイとの互換性あるデジタルコピー、及び音声説明付き視聴覚著作物を含むが、これらに限られるものではない。また、あるフォーマットがアクセシブルか否かの判断は、著作物の利用目的によって異なること、従って、例えば、索引が付されていない録音図書は娯楽目的でこれを聴く視覚障害者にとってはアクセシブルであっても、視覚障害者が学習目的でのアクセスを要する際にはアクセシブルでない場合があることが理解されなければならない。

「適法なアクセス」とは、著作権者により若しくはその許可を得て付与されるアクセス、又は他の合法的手段によって付与されるアクセスを意味する。

「著作権」への言及には、ローマ条約、TRIPS協定、WPPT又はその他の条約に

従い締約国が付与する著作権及び著作権に関連する一切の権利が含まれ、また、「著作権者」及び「著作物」への言及も同様に解釈されるものとする。

「データベース」とは、体系的又は組織的な方法により配列した個別の著作物、データその他の資料の集合物であって、電子的その他の手段を用いて個別的にアクセスしうるものをいう。

第17条 締約国会議

- (a) 締結国は、締約国会議を設置しなければならない。締約国会議は、本条約の全権を有するものであり、かつ、最高機関である。
- (b) 締約国会議は、5年ごとに常会を開催する。締約国会議において臨時会の開催が決定された場合、又は締結国の4分の1以上からその旨の要求があった場合には、臨時会を開催することができる。
- (c) 締約国会議は、その手続規則を採択する。
- (d) 締約国会議は、特に以下の任務を行う。
 1. 選択議定書の策定など、本条約の施行を強化し又は本条約を改正するために可能な措置を検討すること。
 2. その他、本条約の目的を達成するために必要と判断する一切の措置を講じること。

第18条 選択議定書

締約国は、例えば以下のような措置を取るため、本条約の選択議定書を提案する権利を有する。

1. 著作物へのアクセス及び伝達を向上させるための標準規格、相互運用性要件又は規制措置を推進するための共同の義務又は提案
2. 著作物のデジタル化及び頒布を支援するための共同出資
3. 知識及び通信に対するアクセスの平等性の向上を達成するために必要なその他の措置

第19条 留保

いずれの締約国も、本条約第4条(c)項(3)号の施行を拒否することを宣言することができる。

第20条 監視及び施行

WIPOは、3年ごとに、本条約の施行に関する一又は複数の研究の資金を調達するために、締約国及びその他贈与者となりうる者からの任意の寄付を募集する。

[附属文書及び文書末]

WIPO



SCCR/18/5

ORIGINAL: English

DATE: May 25, 2009

WORLD INTELLECTUAL PROPERTY ORGANIZATION
GENEVA

E

STANDING COMMITTEE ON COPYRIGHT AND RELATED RIGHTS

Eighteenth Session
Geneva, May 25 to 29, 2009

PROPOSAL BY BRAZIL, ECUADOR AND PARAGUAY, RELATING TO
LIMITATIONS AND EXCEPTIONS: TREATY PROPOSED
BY THE WORLD BLIND UNION (WBU)

Document prepared by the Secretariat

The Annex to this document contains a proposal put forward by Brazil, Ecuador and Paraguay, in relation to Item 5 of the Standing Committee on Copyright and Related Rights (SCCR) on limitations and exceptions of the agenda, received together with a note dated May 25, 2009.

[Annex follows]

ANNEX

1. The Permanent Mission of Brazil to the World Trade Organization (WTO), the Permanent Mission of Ecuador to the United Nations Office in Geneva and other international organizations and the Permanent Mission of Paraguay to the United Nations Office and other international organizations in Geneva present their compliments to the International Bureau and have the honor to present the attached proposal to be discussed during the upcoming eighteenth session of the Standing Committee on Copyright and Related Rights, under Item 5 of the Agenda ("Exceptions and limitations"), as an example of norm-setting activity in the field of exceptions and limitations to copyrights, among those presented in document SCCR/16/2: for persons with disabilities, libraries and archives, educational activities and to foster technological innovations.

2. The attached document consists of the Treaty proposed by the World Blind Union (WBU), which presents possible ways and means of facilitating and enhancing access to protected works for the blind, visually impaired, and other reading disabled persons. Brazil, Ecuador and Paraguay recognize the merit of dealing without delay, but with careful deliberation, with limitations and exceptions that would allow people with disabilities, such as the visually impaired, to access, publish and distribute works that are accessible to them.

3. By undertaking such an initiative, the World Intellectual Property Organization (WIPO) would act in accordance with the efforts undertaken by the United Nations to address the need for enhancing, as foreseen in document SCCR/16/2, access to knowledge for the most vulnerable or socially prioritized sectors. Brazil, Ecuador and Paraguay also consider that the establishment of formal negotiations on limitations and exceptions would contribute to the broader aims of the Development Agenda, particularly the ones related to norm-setting, as foreseen in document SCCR/16/2.

4. The Permanent Mission of Brazil to the World Trade Organization (WTO), the Permanent Mission of Ecuador to the United Nations Office in Geneva and other international organizations and the Permanent Mission of Paraguay to the United Nations Office and other international organizations in Geneva avail themselves of this opportunity to renew to the International Bureau the assurances of their highest consideration.

Geneva, May 25, 2009

World Blind Union Proposal

WIPO Treaty for Improved Access for Blind, Visually Impaired
and other Reading Disabled Persons

23 October 2008

Preamble.....	2
Article 1. Purpose.....	3
Article 2. Nature and Scope of Obligations	4
Article 3. Relations to Other Agreements	4
Article 4. Limitations and Exceptions to Exclusive Rights under Copyright.....	5
Article 5. Acknowledgment and Moral Rights.....	6
Article 6. Circumvention of Technological Measures.....	6
Article 7. Relationship with Contracts	6
Article 8. Imports and Exports of Works.....	6
Article 9. Notice to Right Owners for Commercial Reproduction and Distribution of Works.....	7
Article 10. Database on Availability of Works.....	7
Article 11. Remuneration for Commercial Exploitation of Works.	7
Article 12. Orphaned Works.....	8
Article 13. Respect for Privacy.	8
Article 14. Limitations and Exceptions Applied to Non-Copyrighted Elements of Databases	8
Article 15. Disabilities Covered	8
Article 16. Additional Definitions.....	9
Article 17. Conference of Parties	9
Article 18. Optional Protocols.....	10
Article 19. Reservations	10
Article 20. Monitoring and Implementation	10

Preamble

The Contracting Parties,

Recognizing the importance of accessibility in the process of the equalization of opportunities in all spheres of society,

Aware of the many barriers to access to information and communication experienced by persons who are blind or have limited vision, or have other disabilities regarding access to published works,

Aware that 90 percent of visually impaired persons live in countries of low or moderate incomes,

Desiring to provide full and equal access to information and communication for the visually impaired,

Recognizing the opportunities and challenges for the visually impaired presented by the development of new information and communication technologies, including technological publishing and communication platforms that are transnational in nature,

Recognizing that similar opportunities and challenges are faced by people with some other disabilities,

Recognizing the need to seek, receive and impart information and ideas through any media and regardless of frontiers,

Aware that national copyright legislation is territorial in nature, and where activity is undertaken across jurisdictions, uncertainty regarding the legality of activity undermines the development and use of new technologies and services that can potentially improve the lives of the visually impaired,

Recognizing the need to introduce new international rules and clarify the interpretation of certain existing rules in order to provide adequate solutions to the challenges and opportunities presented by economic, social, cultural and technological developments,

Emphasizing the importance of copyright protection as an incentive for literary and artistic creation, and as a means to ensure that everyone has the opportunity to participate in the cultural life of the community, to enjoy the arts and to share in scientific advancement and its benefits,

Recognizing that the ideal is for publishers to make their works accessible to people with disabilities at publication and that alternatives are needed to address instances when this does not happen,

Recognizing the need to maintain a balance between the rights of authors and the larger public interest, particularly education, research and access to information, as reflected in the Berne Convention,

Have agreed as follows:

Article 1. Purpose

The purpose of this Treaty is to provide the necessary minimum flexibilities in copyright laws that are needed to ensure full and equal access to information and communication for persons who are visually impaired or otherwise disabled in terms of reading copyrighted works, focusing in particular on measures that are needed to publish and distribute works in formats that are accessible for persons who are blind, have low vision, or have other disabilities in reading text, in order to support their full and effective participation in society on an equal basis with others, and to ensure the opportunity to develop and utilize their creative, artistic and intellectual potential, not only for their own benefit, but also for the enrichment of society.

Article 2. Nature and Scope of Obligations

- (a) Contracting Parties agree to undertake certain measures to enable full and equal access to information and communication for persons who are visually impaired or have other disabilities in accessing copyrighted works;
- (b) Contracting Parties shall give effect to the provisions of this Treaty;
- (c) Contracting Parties shall be free to determine the appropriate method of implementing the provisions of this Treaty within their own legal system and practice. (Language similar to TRIPS Article 1);
- (d) Contracting Parties may, but shall not be obliged to, implement in their law more extensive protections for the visually impaired and reading disabled than are required by this Treaty, provided that such measures do not contravene the provisions of this Treaty. (Language similar to TRIPS Article 1);
- (e) Implementation of the Treaty shall be development-oriented and transparent, taking into account the priorities and the special needs of developing countries, as well as the different levels of development of Contracting Parties. (WIPO Development Agenda); and
- (f) Contracting Parties shall ensure that the implementation allows for timely and effective exercise of authorized actions covered by this Treaty, including expeditious procedures that do not in themselves create barriers to legitimate uses, are fair and equitable, and are not unnecessarily complicated or costly, or entail unreasonable time, time-limits or unwarranted delays. (Language similar to TRIPS Article 41).

Article 3. Relations to Other Agreements

- (a) Contracting Parties agree that the provisions of this Treaty are consistent with obligations set out under those of the following treaties and conventions to which they are a party:
 - 1. the Paris Act of July 24, 1971 of the Berne Convention for the Protection of Literary and Artistic Works (the Berne Convention);
 - 2. the WIPO Copyright Treaty 1996 (the WCT);
 - 3. the International Convention for the Protection of Performers, Producers of Phonograms and Broadcasting Organisations done in Rome, October 26, 1961 (the Rome Convention);
 - 4. the WIPO Performances and Phonograms Treaty 1996 (the WPPT);
 - 5. the Agreement on Trade-Related Aspects of Intellectual Property Rights 1994 (the TRIPS Agreement);
 - 6. the UNESCO Convention on the Protection and Promotion of the Diversity Of Cultural Expressions; and

7. the UN Convention on the Rights of Persons with Disabilities, including but not limited to Articles 21 and 30.

(b) Contracting Parties agree that, to the extent that this Treaty applies to literary and artistic works as defined in the Berne Convention, it is a special agreement within the meaning of Article 20 of that Convention, as regards Contracting Parties that are countries of the union established by that Convention.

Article 4. Limitations and Exceptions to Exclusive Rights Under Copyright

(a) It shall be permitted without the authorisation of the owner of copyright to make an accessible format of a work, supply that accessible format, or copies of that format, to a visually impaired person by any means, including by non-commercial lending or by electronic communication by wire or wireless means, and undertake any intermediate steps to achieve these objectives, when all of the following conditions are met:

1. the person or organisation wishing to undertake any activity under this provision has lawful access to that work or a copy of that work;
2. the work is converted to an accessible format, which may include any means needed to navigate information in the accessible format, but does not introduce changes other than those needed to make the work accessible to a visually impaired person;
3. copies of the work are supplied exclusively to be used by visually impaired persons; and
4. the activity is undertaken on a non-profit basis.

(b) A visually impaired person to whom a work is communicated by wire or wireless means as a result of activity under paragraph (a) shall be permitted without the authorisation of the owner of copyright to copy the work exclusively for his or her own personal use. This provision is without prejudice to any other limitations and exceptions that a person is able to enjoy.

(c) The rights under paragraph (a) shall also be available to for-profit entities and shall be extended to permit commercial rental of copies in an accessible format, if any of the following conditions are met:

1. the activity is undertaken on a for-profit basis, but only to the extent that those uses fall within the normal exceptions and limitations to exclusive rights that are permitted without remuneration to the owners of copyright;
2. the activity is undertaken by a for-profit entity on a non-profit basis, only to extend access to works to the visually impaired on an equal basis with others; or
3. the work or copy of the work that is to be made into an accessible format is not reasonably available in an identical or largely equivalent format enabling access for the visually impaired, and the entity providing this accessible format gives notice to the owner of copyright of such use and adequate remuneration to copyright owners is available.

(d) In determining if a work is reasonably available in (c)(3), the following shall be considered:

1. for developed economies, the work must be accessible and available at a similar or lower price than the price of the work available to persons who are not visually impaired; and
2. for developing countries, the work must be accessible and available at prices that are affordable, taking into account disparities of incomes for persons who are visually impaired.

Article 5. Acknowledgment and Moral Rights

(a) Where a work or copy of a work is supplied to a visually impaired person as a result of any activity under Article 4, mention shall be made of the source, and of the name of the author as it appears on the work or copy of the work that the person or organisation acting under Article 4 has lawful access to.

(b) Use as permitted by Article 4 shall be without prejudice to the exercise of moral rights.

Article 6. Circumvention of Technological Measures

Contracting parties shall ensure that beneficiaries of the exception provided by Article 4 have the means to enjoy the exception where technological protection measures have been applied to a work, including when necessary the right to circumvent the technological protection measure so as to render the work accessible.

Article 7. Relationship With Contracts

Any contractual provisions contrary to the exception provided in Article 4 shall be null and void.

Article 8. Imports and Exports of Works

Provided that all the relevant conditions of Article 4 are complied with in the exporting and importing countries as appropriate, the following shall be permitted without the authorization of the owner of copyright:

1. the export to another country of any version of a work or copies of the work that any person or organisation in one country is entitled to possess or make under Article 4; and
2. the import of that version of a work or copies of the work by a person or organisation able to act under the provisions of Article 4 in the other country.

(Note: see *SCCR/15/7, the Sullivan Report, page 119-121*)

Article 9. Notice to Right Owners for Commercial Reproduction and Distribution of Works

In cases involving the reproduction and distribution of works for the visually impaired under Article 4(c)(3), reasonable efforts should be made to provide notice to the owner of a work protected by copyright. Such notice shall include the following:

1. the name, postal address and relevant telecommunications contact information for the party exercising their rights to reproduce and distribute works;
2. the nature of the use of the work, including the countries where the work is distributed and the terms under which the works are distributed; and
3. information regarding the right of copyright owners to obtain remuneration for the use of the work, or to challenge the use, on the grounds that the uses are not sufficiently restricted to persons who are visually impaired, or that the work is in fact reasonably available in an identical or largely equivalent form enabling its perception by the visually impaired.

Article 10. Database on Availability of Works

(a) WIPO shall create a database that is accessible through the Internet and other means that will allow copyright owners to voluntarily identify works for purposes of facilitating the notices obligations in Article 9 of this Treaty, and to provide information regarding the availability of a work in forms enabling its perception by the visually impaired.

(b) After consultation with publishers and visually impaired persons, WIPO should ensure that the database includes a standard machine readable code to uniquely identify works registered in the database. This code shall be suitable for use in published works in a variety of formats.

Article 11. Remuneration for Commercial Exploitation of Works.

(a) When implementing Article 4(c)(3), Contracting Parties shall ensure that there is a mechanism for determining the level of adequate remuneration to be paid to the owner of copyright in the absence of voluntary agreement. In determining adequate remuneration under Article 4(c)(3), the following principles shall be followed:

(b) Right owners shall be entitled to remuneration that is reasonable for normal commercial licensing of works, regarding the terms normally associated with the country, population and purposes for which the work is used, subject to the requirements of Article 11(c);

(c) In developing countries, remuneration should also take into consideration the need to ensure that works are accessible and available at prices that are affordable, taking into account disparities of incomes for persons who are visually impaired;

(d) It shall be a matter of national law to determine if remuneration under (a) is waived for works in certain formats, such as Braille, or for certain qualified entities; and

(e) Persons who distribute works across borders will have the option of registration for remuneration payments in a single country, if the mechanism for remuneration in the country meets the requirements of this Treaty, and addresses the legitimate concerns of the copyright owners in terms of transparency, and remuneration is considered reasonable either for a global license for works that are distributed globally, or for a license to use works in specific countries, calibrated for the countries, users and purposes for which works are used.

Article 12. Orphaned Works

(a) It shall be a matter for national law to determine if certain commercial use of works for which the author or copyright owner cannot be identified or who do not respond to notices require payment of remuneration.

(b) In cases where right owners cannot be identified or do not respond to notices, liability for uses of works shall not exceed 24 months from the date of use.

Article 13. Respect for Privacy

In implementing this Treaty, Contracting Parties shall protect the privacy of persons who are visually impaired on an equal basis with others. *(from Article 22 of the Convention on the Rights of Persons with Disabilities).*

Article 14. Limitations and Exceptions Applied to Non-Copyrighted Elements of Databases

The provisions of this treaty shall apply *mutatis mutandis* to non-copyrighted elements of databases.

Article 15. Disabilities Covered

(a) For the purposes of this Treaty, a ‘visually impaired’ person is:

1. a person who is blind; or
2. a person who has a visual impairment which cannot be improved by the use of corrective lenses to give visual function substantially equivalent to that of a person who has no visual impairment and so is unable to access any copyright work to substantially the same degree as a person without a disability.

(b) Contracting Parties shall extend the provisions of this Treaty to persons with any other disability who, due to that disability, need an accessible format of a type that could be made under Article 4 in order to access a copyright work to substantially the same degree as a person without a disability.

Article 16. Additional Definitions

For the purposes of this Treaty:

‘Work’ means any work of a type in which copyright could subsist whether or not such protection is provided by national laws or was provided but has expired, and includes literary, dramatic, musical and artistic works, databases and films.

‘Owner of copyright’ includes any person or body which can control access to a work by the exercise of exclusive rights or through other means, even where copyright does not subsist or no longer subsists.

‘Exclusive rights’ mean any rights provided in accordance with the other agreements identified in Article 4 or otherwise and includes the rights of reproduction, adaptation, and distribution and communication by wire or wireless means to the public.

‘Accessible format’ means an alternative manner or form which gives a visually impaired person or reading disabled person access to the work, including to permit a person with a visual impairment to have access as flexibly and comfortably as a person without a visual impairment.

‘Accessible formats’ shall include, but not be limited to, large print, with different typefaces and sizes all being permitted according to need, Braille, audio recordings, digital copies compatible with screen readers or refreshable Braille and audiovisual works with audio description. It shall also be understood that whether a format is accessible or not will vary depending on the purpose for which the work is to be used and so, for example, an audio recording of a book without indexing may be accessible for a visually impaired person listening for pleasure but not where a visually impaired person needs access for the purposes of study.

‘Lawful access’ means access provided by or with the permission of the copyright owner or through other legal means.

References to ‘copyright’ include copyright and any relevant rights related to copyright that are provided by a Contracting Party in compliance with the Rome Convention, the TRIPS Agreement, the WPPT or otherwise, and references to the ‘owner of copyright’ and ‘author’ shall be construed accordingly.

‘Database’ means a collection of independent works, data or other materials arranged in a systematic or methodical way and capable of being individually accessed by electronic or other means.

Article 17. Conference of Parties

(a) A Conference of Parties shall be established among the Contracting Parties. The Conference of Parties shall be the plenary and supreme body of this Treaty.

(b) The Conference of Parties shall meet in ordinary session every five years. It may meet in extraordinary session if it so decides or upon request to that effect from at least one-quarter of the Parties.

- (c) The Conference of Parties shall adopt its own rules of procedure.
- (d) The functions of the Conference of Parties shall be, inter alia:
 - 1. to consider possible measures to enhance the implementation or modify this Treaty, including the development of optional protocols; and
 - 2. to take whatever other measures it may consider necessary to further the objectives of this Treaty.

Article 18. Optional Protocols

Contracting Parties shall have the right to propose optional protocols for this Treaty, to address measures such as:

- 1. harmonized obligations or offers to promote standards, interoperability requirements, or regulatory measures to enhance access to works and communications;
- 2. collaborative funding to support the digitalization and distribution of works; and, or
- 3. other measures that are necessary to achieve greater equality of access to knowledge and communications.

Article 19. Reservations

Any Contracting Parties may declare that it declines to implement Article 4(c)(3) of the Treaty.

Article 20. Monitoring and Implementation

Every three years WIPO shall solicit voluntary contributions from Contracting Parties and other possible donors in order to finance one or more studies of the implementation of this Treaty.

[End of Annex and of document]

※この資料は、文化庁からの依頼により、(株)日本翻訳センターが公表資料を和訳したものです。参考のための仮訳であり、条文の解釈に影響を与えるものではありません。

合意文書案
(米国の提案)

ベルヌ（ベルン）同盟総会¹、WIPO 著作権条約総会及び世界知的所有権機関（WIPO）総会は、

文学的及び美術的著作物の保護に関するベルヌ（ベルン）条約と WIPO 著作権条約の規定を考慮し、

文学的及び美術的著作物に関する著作者の権利の保護をできる限り効果的かつ統一的な方法で発展させ、及び保持することを希望し²、

著作者の利益と使用者の利益、特に印刷物を読めない障害の人や視覚障害を持つ人のニーズの間のバランスを維持するという公共の利益を認識し³、

視覚障害者や印刷物を読めない障害の人の情報へのアクセス、ならびに市民生活、教育、政治、経済、社会、文化への完全な参加を促す上での著作権制度の役割を認識し、

その目的で多くの加盟国が印刷物を読めない障害の人のために国内著作権法の例外や制限を設けているものの、そのような人々向けの特別なフォーマットの著作物が引き続き不足していることを認識し、

ベルヌ（ベルン）条約第 9 条（2）及び WIPO 著作権条約第 10 条に確立された制限と例外のスリー・ステップ・テストの重要性、力及び柔軟性を強調して、

加盟国に対し、印刷物を読めない障害の人のニーズに関連した著作権法の規則として第____回著作権等常設委員会（SCCR）で採択された規定を採択及び実行するよう勧告する。

この規定は以下のとおりである。

第1条 定義

「印刷物を読めない障害の人」⁴

本〔合意文書〕の目的で、「印刷物を読めない障害の人」とは以下をいう。

1. 全盲者；または
2. 視覚障害、または認知障害もしくは読字障害があり、矯正レンズを使用してもそのような障害がない人と実質的に同等のレベルまで視覚が改善せず、そのような障害がない人と実質的に同程度に印刷物を読む⁵ことができない人
3. 通常の印刷物の扱いや使用を妨げる整形外科的または神経・筋肉に関する身体障害を持つ人

「合理的な価格」⁶

本〔合意文書〕の目的で、著作物の特別フォーマット版が「合理的な価格」で入手可能だと判断されるためには、印刷物を読めない障害を持たない人が市場で入手できるのと同様またはそれより低い価格で著作物の特別フォーマット版が利用できなければならない。

「著作物の特別フォーマット版」

本〔合意文書〕の目的で、「著作物の特別フォーマット版」とは、印刷物を読めない障害の人が専ら使用するために作られた点字、音声またはデジタルによるテキストであり、そのような専用性が技術的な手段または信任を受けた仲介者を通してそのフォーマットに固有のものである著作物をいう。

「信任を受けた仲介者」

本〔合意文書〕の目的で、「信任を受けた仲介者」とは、教育、訓練、適応的リーディングまたは情報アクセスに関連したサービスを提供することによって印刷物を読めない障害の人を支援することを主な目的とする、政府機関または法人格を持つ非営利組織をいう。信任を受けた仲介者は、印刷物を読めない障害の人としてサービスの対象となるかどうかを判定する方針と手続きを持つ。

信任を受けた仲介者は、印刷物を読めない障害の人と著作権者の両方から信任された組織である。

信任を受けた仲介者が組織の全国ネットワークである場合には、このネットワークに参加するすべての組織、機関、事業体がこの特徴を持たなければならない⁷。

第2条

印刷物を読めない障害の人のための特別フォーマット版の輸出

加盟国は、それぞれの国内法に基づき、著作権者の許可なく以下を行うことが認められると規定しなければならない。

A. 印刷物を読めない障害の人のために国内の著作権法の例外、制限またはその他の特別規定に従って点字フォーマットで作成された物理的な出版著作物を他の加盟国に輸出すること

B. 印刷物を読めない障害の人のために国内の著作権法の例外、制限またはその他の特別規定に従ってその他の特別フォーマットで作成された出版著作物を他の加盟国の信任を受けた仲介者に輸出すること

加盟国は、この原則の運用を、輸入国で合理的な時期に合理的な価格で入手できない特別フォーマットの出版著作物に限定することができる⁸。

第3条

印刷物を読めない障害の人のための特別フォーマット版の輸入

加盟国は、それぞれの国内法に基づき、著作権者の許可なく以下を行うことが認められると規定しなければならない。

A. 印刷物を読めない障害の人のために国内の著作権法の例外、制限またはその他の特別規定に従って点字フォーマットで作成された物理的な出版著作物を他の加盟国から輸入すること

B. 印刷物を読めない障害の人のために国内の著作権法の例外、制限またはその他の特別規定に従ってその他の特別フォーマットで作成された出版著作物を他の加盟国の信任を受けた仲介者から輸入すること

加盟国は、この原則の運用を、輸入国で合理的な時期に合理的な価格で入手できない特別フォーマットの出版著作物に限定することができる。

注釈

- 1 この語に代わって、「文学的及び美術的著作物の保護に関するベルヌ（ベルン）同盟総会」または「文学的及び美術的著作物の著作権者の権利保護に関するベルヌ（ベルン）同盟総会」とすることも考えられる。
- 2 これは WCT の前文を基礎にしたものである。
- 3 これも WCT の前文を基礎にしたものである。
- 4 この定義の第 2 の部分は、WBU 条約案第 15 条の要素を取り入れ、次の注に説明されるとおりの世界保健機関の「読むこと（reading）」の概念を加えたものである。第 3 の要素は、印刷物を読めない障害に関するいくつかの国の法を反映している。
- 5 「読むこと（reading）」は世界保健機関の「国際生活機能分類：国際障害分類改訂版」（ICF）（<http://www.who.int/classifications/icf/en>）に従って定義されるべきである。ICF の「読むこと」（クラス d166）は、「一般的知識または特定の情報を得るために、書かれた言語（たとえば文章または点字で記された本、使用説明書、新聞など）を理解・解釈することに伴う活動の実行」と定義されている。[この定義は ICF の検索ページで検索することができる（<http://apps.who.int/classifications/icfbrowser/>）。]
- 6 この規定には WBU 条約案第 4 条（d）の記述が取り入れられている。
- 7 この定義は、アルゼンチン、オーストラリア、米国の現行法の規定、および WIPO の「信任を受けた仲介者に関するガイドライン」の「信任を受けた仲介者」の記述を基礎にしたものである。
- 8 これは、一部の加盟国が（国内の現行法のとおり）、この原則の運用を著作物が国内で入手できない場合に限定したいと考えていることを認識したものである。著作物が国内で入手できるかどうかは個別に判断される。ここに用いた表現はオーストラリアの法の条文を基礎にしている。「合理的な価格」への言及は WBU 条約案の考え方を取り入れたものである。

Standing Committee on Copyright and Related Rights

Twentieth Session
Geneva, June 21 to 24, 2010

Draft Consensus Instrument

Proposal by the Delegation of the United States of America

DRAFT CONSENSUS INSTRUMENT

The Assembly of the Berne Union,ⁱ the Assembly of the WIPO Copyright Treaty, and the General Assembly of the World Intellectual Property Organization (WIPO),

Taking into account the provisions of the Berne Convention for the Protection of Literary and Artistic Works and the WIPO Copyright Treaty;

Desiring to develop and maintain the protection of the rights of authors in their literary and artistic works in a manner as effective and uniform as possible;ⁱⁱ

Recognizing the public interest in maintaining a balance between the interests of authors and users, particularly the needs of those persons with print disabilities or impairment of their vision;ⁱⁱⁱ

Recognizing the role of the copyright system in facilitating access to information and full engagement by persons who are blind or print disabled in civil, educational, political, economic, social and cultural spheres;

Recognizing the large number of Members who, to that end, have established exceptions and limitations in their national copyright laws for persons with print disabilities, yet the continuing shortage of works in special formats for such persons;

Emphasizing the importance, vitality, and flexibility of the three-step test for limitations and exceptions established in Article 9(2) of the Berne Convention and in Article 10 of the WIPO Copyright Treaty;

Recommend that each Member State adopt and implement the provisions adopted by the Standing Committee on Copyrights and Related Rights (SCCR) at its [___] session as rules for copyright law in relation to the needs of persons with print disabilities;

Provisions follow.

Article 1

Definitions

“person with print disabilities”^{iv}

For the purposes of this [consensus instrument], a ‘person with print disabilities’ is:

1. a person who is blind; or
2. a person who has a visual impairment or a perceptual or reading disability which cannot be improved by the use of corrective lenses to give visual function substantially equivalent to that of a person who has no such impairment or disability and so is unable to read^v printed works to substantially the same degree as a person without an impairment or disability;
3. a person who has an orthopedic- or neuromuscular-based physical disability that prohibits manipulation and use of standard print materials.

“reasonable price”^{vi}

For the purposes of this [consensus instrument], in determining if a special format copy of a work is available at a “reasonable price,” the special format copy of the work should be available at a similar or lower price than the price of the work available to persons without print disabilities in that market.

“special format version of a work”

For the purposes of this [consensus instrument], a “special format version of a work” means Braille, audio, or digital text which is exclusively for use by persons with print disabilities, such exclusivity being inherent to the format, through technical means, or through exclusive distribution by trusted intermediaries.

“trusted intermediary”

For the purposes of this [consensus instrument], a “trusted intermediary” means a governmental agency or a non-profit entity with legal personality that has as a primary mission to assist persons with print disabilities by providing them with services relating to education, training, adaptive reading, or information access. A trusted intermediary maintains policies and procedures to establish the eligibility of the persons with print disabilities that it serves.

A trusted intermediary is an institution that has the trust of both persons with print disabilities and copyright rights holders. If the trusted intermediary is a nation-wide network of organizations, then all organizations, institutions, and entities that participate in the network must adhere to these characteristics.^{vii}

Article 2

The exportation of special format copies for persons with print disabilities

Members should provide that the following shall be permitted under their individual national laws without the authorization of the owner of copyright:

A. the exportation to another Member of any physical Braille format copy of a published work made pursuant to an exception, limitation, or other special provision of the Member’s copyright law for the benefit of persons with print disabilities;

B. the exportation to trusted intermediaries in another Member of any other special format copy of a published work made pursuant to an exception, limitation, or other special provision of the Member’s copyright law for the benefit of persons with print disabilities.

Members may chose to limit the operation of this principle to published works which, in the applicable special format, cannot be otherwise obtained in the country of importation within a reasonable time and at a reasonable price.^{viii}

Article 3

The importation of special format copies for persons with print disabilities

Members should provide that the following shall be permitted under their individual national laws without the authorization of the owner of copyright:

A. the importation from another Member of any physical Braille format copy of a published work made pursuant to an exception, limitation, or other special provision of that other Member's copyright law for the benefit of persons with print disabilities;

B. the importation from trusted intermediaries in another Member of any other special format copy of a published work made pursuant to an exception, limitation, or other special provision of that other Member's copyright law for the benefit of persons with print disabilities.

Members may chose to limit the operation of this principle to published works which, in the applicable special format, cannot be otherwise obtained in the country of importation within a reasonable time and at a reasonable price.

[End of document]

EXPLANATORY NOTES

- i Alternatives would include "The Assembly of the Berne Union for the Protection of Literary and Artistic Works" or "The Assembly of the Berne Union for the Protection of the Rights of Authors in their Literary and Artistic Works."
- ii This is inspired by the preamble of the WCT.
- iii This also is inspired by the preamble of the WCT.
- iv The second part of this definition draws elements from Article 15 of the WBU draft treaty with the addition of the concept of reading drawn from the World Health Organization as described in the next footnote. The third element reflects provisions in several national laws addressing print disabilities.
- v "Reading" should be defined pursuant to the World Health Organization's INTERNATIONAL CLASSIFICATION OF FUNCTIONING, DISABILITY AND HEALTH (ICF), available at <http://www.who.int/classifications/icf/en/>. The ICF's definition of reading (class d166) is "Performing activities involved in the comprehension and interpretation of written language (e.g. books, instructions or newspapers in text or Braille), for the purpose of obtaining general knowledge or specific information." [This can be found by using the IFC search function at <http://apps.who.int/classifications/icfbrowser/>.]
- vi This provision draws on the description given in Article 4(d) of the WBU draft treaty.
- vii This definition is inspired by existing provisions in Argentine, Australian, and US law as well as the description of a "trusted intermediary" in the WIPO Trusted Intermediary Guidelines.
- viii The principle recognizes that some Members (as in their existing national law) may wish to limit the operation of the principle to situations where the work is not available in the requesting Member; such judgments could be made on a case-by-case basis. The language here is inspired by relevant provisions of Australian law; the reference to "reasonable price" draws on the concept offered in the WBU draft treaty.

※この資料は、文化庁からの依頼により、(株)日本翻訳センターが公表資料を和訳したものです。参考のための仮訳であり、条文の解釈に影響を与えるものではありません。

E



SCCR/20/11
原本：フランス語
日付：2010年6月15日

著作権及び著作隣接権に関する常設委員会

2010年6月21-24日、ジュネーブ
第12回会合

障害者、教育及び研究機関、図書館並びに文書館の例外及び制限に関する世界
知的所有権機関条約草案

アフリカグループによる提案

前文

締約国は、

『障害者の権利に関する国際連合条約』において宣言されている、差別されないこと、機会の均等並びに施設及びサービスの利用性に関する原則を想起し、

『経済的、社会的及び文化的権利に関する国際規約』において認識されているすべての者の教育の権利を認識し、

『市民的及び政治的権利に関する国際規約』が、表現の自由についての権利（この権利には、口頭、手書き若しくは印刷、芸術の形態又は自ら選択する他の方法により、国境とのかかわりなく、あらゆる種類の情報及び考えを求め、受け及び伝える自由を含む）をすべての者に保証することに留意し、

教育、文化、情報及び通信の均等な機会提供が公共政策の基盤となる根本的権利であることを考慮し、

教育、文化及び情報の提供に関しすべての者に平等な機会を保証するに当たって当局者が担う重要な役割を認識し、

文化的及び科学的遺産の普及、促進及び保護に当たり教育及び研究機関、図書館並びに公文書館が担う役割に留意し、

世界知的所有権機関の開発アジェンダの関連する勧告の実施に貢献したいという欲求に促され、

教育、研究、並びに情報及び通信機会の提供に関して障害者の人間性の開発及び充足を損ねる障害に留意し、

いずれかのメディアを通じ及び国境とのかかわりなく、情報及び考えを求め、受け及び伝える必要性を認め、

国内の著作権法令が域内/属地的性質を有すること、[このため]法域を超えて活動が行われる場合には当該活動の合法性が不明確であることが、障害者、並びに教育、文化及び情報を入手する機会について手段を持たないすべての者の生活を潜在的に改善する新しい技術及びサービスの開発及び使用を阻害することを認識し、

国内又は国際的な法規定により何らの免除も提供されていない項目について、必須となる例外及び制限を導入することにより公共の利益を保護する必要性に留意し、

障害者、図書館、文書館、教育及び研究のために著作権の例外及び制限の範囲を拡大する緊急の必要性を認識し、

弱者の必要性に並びに経済的、社会的、文化的及び技術的な発展により提示される課題及び機会に向けた、適切な解決策を提供するための新たな国際的ルールを導入する必要性を認識し、

著作者の権利とより広範な公共の利益、とりわけ教育、研究及び情報の入手という公共の利益の間の均衡を保つ必要性を認識し、

法律的な又は技術的な障害無しに開発途上国による柔軟性及び機会提供の享有及び継続的享有を保障する重要性を強調し、

国際法に関する主要な課題、すなわち例外及び制限に向けた世界的な取組に着手する緊急の必要性を認め、

ここに、次のとおり協定した。

第1条: 定義

この条約の適用上、

「**著作物**」とは、表現の方法、形態又形式はのいかんを問うことなく、著作権による保護(の期間)が満了していた場合にも、著作権により保護されうる美術的、文学的、演劇的、音楽的又は科学的な種別の原作品又は派生的生成物を意味する。

「**著作権保有者**」とは、保護の適用がある際において使用に関する独占的権利を享有する、又は著作権が存続せず若しくは最早存続しない際における、著作物の著作者である自然人又は法人をいう。

「**独占的権利**」とは、第4条において特定される合意に従って付与されるいずれかの権利を意味し、これには複製を作成し、翻案し、頒布(譲渡)し及び公衆に対して有線又は無線により通信する権利を含む。

「**機会提供可能フォーマット**」とは、この条約第18条にて掲げる障害のある者に対し、障害を持たない者と同じだけの柔軟性及び快適性のある形にて著作物の提供を受ける機会を付与する代替的な方法又は形態を意味する。

「**機会提供可能フォーマット**」とは、必要性に応じて許容される様々な書体及び大きさの大型の活字、点字、録音、モニター画面上に表示し又は点字に転換することが可能なデジタル・コピー、並びに音声による説明が付された録画著作物をいうが、これらに限定されるものではない。

「**著作権**」とは、著作者が自身の著作物に対して有するすべての財産的権利及び人格権を意味する。

「**データベース**」とは、個別の著作物、データ又はその他の資料の集合で、系統的に又は組織的に配列され、電子的な又はその他の手段による個々のアクセスが可能なものを意味する。

「**文書館**」とは、公的使命を持つ非営利の施設で、教育、授業、研究及び公共の利益に有用な知識の促進という観点から、国家及び国民に関するあらゆる種類の知識（文化遺産を含む）を取り扱う著作物の保管所として機能するものを意味する。

「**図書館**」とは、公的使命を持つ非営利の施設で、教育、授業、研究及び公共の利益に有用な知識の促進という観点から、国家及び国民に関するあらゆる種類の知識（文化遺産を含む）を取り扱う著作物を無料で提供するものを意味する。

「**機関**」とは、この条約第2条にて特定するものをいう。

第2条: 目的

この条約は、保護された著作物を下記に掲げる受益者に利用する機会を提供するという観点から、国内の著作権法令に盛り込むべき最小限の要素を定めるものである。

- 第21条にて掲げる障害のある者。
- 教育及び研究機関。
- 図書館
- 文書館

第3条: 義務の性質と範囲

- (a) 締約国は、第2条の対象となる者及び機関に対し情報及び通信にかかる完全な及び均等な利用機会の提供を確保するための適当な措置をとることに同意しなければならない。
- (b) 締約国はこの条約の規定を履行しなければならない。
- (c) 締約国は、この条約の規定を実施する適当な方法を自由に決定するものとする。
- (d) 締約国は、開発途上国の優先性及び特別な必要性並びに締約国の開発水準の差異を踏まえた上で、この条約を透明性ある形で適用することに同意しなければならない。
- (e) 締約国は、[この条約の規定の]実施がこの条約の対象となる権限ある行為を適時に及び効果的に行うことを可能にするものとなるよう確保しなければならない（これには正当な使用の障害とならない、公正かつ公平な、並びに不必要な複雑性若しくは高価性を伴わない、又は不当に時間のかかる、不当な時限を設ける若しくは不当な遅延を生じさせることのない迅速な手続[の制定]を含む）。

第4条: 他の国際文書との関係

- (a) 締約国は、次に掲げる諸条約で自国が締約国となっているものが定める義務にこの条約の規定が適合/両立することに同意しなければならない。
 1. 文学的及び美術的著作物の保護に関するベルヌ条約（ベルヌ条約）
 2. 1996年世界知的所有権機関著作権条約（WCT）
 3. 1961年10月26日にイタリアのローマにおいて作成された、実演家、レコード製作者及び放送機関の保護に関する国際条約（ローマ条約）
 4. 1996年実演及びレコードに関する世界知的所有権機関条約（WPPT）
 5. 1994年知的所有権の貿易関連の側面に関する協定（TRIPS協定）
 6. UNESCO文化的表現の多様性の保護及び促進に関する条約
 7. 障害者の権利に関する国際連合条約
- (b) 締約国は、この条約が『ベルヌ条約』にて定義する文学的及び美術的著作物に適用される範囲において、当該条約により形成された同盟の構成員(同盟国)である締約国に関して、この条約が当該条約の第二十条でいう特別の取極(取り決め)であることに同意する。

第5条: 著作権に対する制限及び例外

障害者の場合

- (a) 次に掲げる条件のすべてが満たされる場合、著作物について機会提供可能フォーマットを作成すること、かかる機会提供可能フォーマット又はその複製を障害者にいずれかの手段（非商業的貸与又は有線若しくは無線による電子通信を含む）により著作権保有者の許諾無しに提供すること、及びこうした目的を達成するための他の媒介的措置をとることが著作権保有者の許諾無しに許容されなければならない：
1. この規定に基づく活動を希望する個人又は機関による当該著作物又はその複製にかかる利用機会が適法であること。
 2. 著作物の機会提供可能フォーマットへの変換は、機会提供可能フォーマットの中の情報を伝達するために必要となるあらゆる手段を用いて行うことが可能であるが、障害者に対して著作物の利用機会を提供するために必要なもの以外のいかなる変更も加えないこと。
 3. 著作物の複製は専ら障害者の使用のために提供されること。
 4. 当該活動が非営利ベースにて行われること。
 5. 権利保有者が権利保有者として認識されること。
- (b) (a)の規定に基づく活動の結果として著作物の通信が障害者に対して有線又は無線で行われる場合、当該障害者には、自己の個人使用を専らの目的とする著作物の複製を著作権保有者の許諾無しに作成することが許容されなければならない。本規定により当該者が享有することが可能な他の制限及び例外が損なわれてはならない[= 本規定が適用される場合であっても、当該者が享有することが可能な著作権に関する他の制限及び例外はそのまま適用が可能である]ものとする。
- (c) 次に掲げる条件のいずれかが満たされる場合、(a)の規定に基づく権利は営利団体のためにも利用が可能であるものとし、機会提供可能フォーマットによる複製の作成は商業的貸与が許容される点にまで拡大されなければならない：
1. 活動は営利ベースにて行われるが、著作物の使用が、著作権保有者に対する補償金無しに使用を許容する独占的権利に対する通常の外例及び制限の範囲内においてのみ行われること。
 2. 活動が、著作物の利用機会を障害者に提供することだけを目的にして、非営利ベースにて営利団体により行われること。
 3. 機会提供可能フォーマットに変換される著作物又はその複製が、障害者による利用機会を可能にする同一の又は同等のフォーマット(形態)により合理的に利用可能とはなっていないこと、並びに当該機会提供可能フォーマットを提供する団体が著作権保有者宛に当該使用に関する通知を行い及び著作権保有者に対して適切な補償金が支払われること。
- (d) (c) (3)の規定に従い著作物が合理的に利用可能となっているか否かを判断するに当たっては、次に掲げる基準が考慮されなければならない：

1. 先進国の場合、障害者ではない者が著作物を利用することが可能な価格と同じ又はこれより低い価格にて著作物の利用機会が提供されなければならないこと。
2. 開発途上国の場合、障害者の所得格差を踏まえた上で、手が届く価格にて著作物の利用機会が提供されなければならないこと。

第6条: 私的使用及び研究のための複製の作成

- (a) 締約国は、私的使用及び研究を目的に著作物の複製を権利保有者の許諾無しに作成するための適当な措置をとることに同意しなければならない。
- (b) 許容される使用には、権利保有者に対し適切な補償を行うことなく著作物の全部又はその実質的な(重要な)部分の複製を作成することが含まれなければならない。
- (c) 著作物の出所及び著作者は十分に周知されなければならない。

第7条: 教育及び研究機関

- (a) 発行され又は発行されていない著作物について、教育及び科学研究を目的にして限定的な複製を権利保有者の許諾無しに作成することが、その形態のいかんを問うことなく許容されなければならない。
- (b) (a)の規定でいう複製は、非営利ベースにて又は公共の利益のために使用されなければならない。また権利保有者の正当な利益を不当に害するものであってはならない。
- (c) この許容は通信教育を対象にしなければならない。
- (d) 教育及び研究機関には、合法的に取得した著作物の複製を権利保有者の許諾無しに作成することが許容されなければならない。
- (e) (b)の規定の適用上及び(b)の規定を条件として、権利保有者を把握し又はその所在を確認することができない場合において、教育及び研究機関には、権利者不明著作物の複製を作成することが許容されなければならない。
- (f) この条約の対象となる教育及び研究機関には、著作物の技術的保護のための手段を回避することが可能とならなければならない。
- (g) この条約の受益者及びこれを代理する者が著作権に従い行為したと信ずる場合、又はこれらの者が著作権に従い行為したと信ずるに足るだけの合理的根拠がある場合において、これらの者が誠実に行為したときには、これらの者が責任を負うことがあってはならない。

第8条: 図書館及び文書館

- (a) 図書館及び文書館の必要性を満たすため、発行され又は発行されていない著作物について、限定的な複製を著作権保有者の許諾無しに作成することが、その形態のいかんを問うことなく許容されなければならない。
- (b) (a)の規定でいう著作物の複製は、専ら授業、科学研究及び文化遺産の保存の必要性を満たすために使用されなければならない。
- (c) (a)の規定でいう複製は、著作物の通常の利用を妨げず、かつ、その著作者の正当な利益を不当に害することなく、公共の一般的利益及び人間性の開発のため、著作物の非営利ベースによる使用のために作成されなければならない。この活動は、その場又は遠隔の場において行うことが可能である。
- (d) 図書館及び文書館のサービスのために、合法的に取得した著作物の複製を権利保有者の許諾無しに作成することが許容されなければならない。

- (e) (b)の規定の適用上及び(b)の規定を条件として、権利保有者を把握し又はその所在を確認することができない場合において、図書館及び文書館のサービスのために、権利者不明著作物の複製を作成することが許容されなければならない。
- (f) この条約の対象となる図書館及び文書館には、著作物の技術的保護のための手段を回避することが許容されなければならない。
- (g) この条約の受益者及びこれを代理する者が著作権に従い行為したと信ずる場合、又はこれらの者が著作権に従い行為したと信ずるに足るだけの合理的根拠がある場合において、これらの者が誠実に行為したときには、これらの者が責任を負うことがあってはならない。

第9条: コンピュータ・プログラム

締約国は、相互運用、交換又はサポートを許すために、コンピュータ・プログラムに関して例外及び制限を設けることに合意しなければならない。

第10条: 隣接権に対する制限及び例外

実演家、レコード又はビデオソフト製作者、及び音声又は映像放送機関のために認識される諸権利は、独占的著作権に対する例外及び制限として第5条、第6条、第7条及び第8条にて規定するものと同様の例外及び制限の対象とならなければならない。

第11条: 引用

- (a) 著作権により保護されている著作物で既に公開されているものについて、引用を目的にしてこれを使用することを許すため、締約国は適当な措置をとることに同意しなければならない。
- (b) 引用に際しては、著作物の出所及び著作者名が明示されなければならない。

第12条: 認識及び人格権

- (a) 著作物又はその複製が第2条でいう受益者に提供される場合、第5条、第6条、第7条及び第8条に基づき活動する個人又は機関が適法な利用機会を有す著作物の出所について及び当該著作物又はその複製の上に表示された著作者の名前について、表示がなされなければならない。
- (b) 第5条、第6条、第7条及び第8条により許容される使用が、人格権の行使を害することがあってはならない。

第13条: 技術的保護の回避

締約国は、技術的保護の手段が著作物に適用される場合においては、第2条にて掲げる例外及び制限の受益者が例外を享有する手段を有すよう（必要な場合には、著作物の利用機会を確保するための、技術的保護の手段を回避する権利を含む）確保しなければならない。

第14条: 契約との関係

- (a) 第2条にて掲げる制限及び例外を免除するいかなる契約規定も無効であるものとする。

- (b) この条約の発効前に締結された契約に対してこの条約が遡及的に適用されることはないものとする。
- (c) (a)の規定でいう原則は、この条約発効の日より効力を生じ適用されるものとする。

第 15 条: 著作物の輸入及び輸出

締約国は、著作物に関する次に掲げる輸入及び輸出が第5条、第6条、第7条及び第8条にて掲げる条件を満たすよう確保しなければならない、またこれが著作権所有者の許諾無しに許容されるよう必要な措置をとらなければならない。

1. 一方国の個人又は機関が第5条、第6条、第7条及び第8条に基づき保有し又は複製作成等を行う権利を持ついずれかの形に変形された著作物又はその複製の他国への輸出。
2. 第5条、第6条、第7条及び第8条の規定に基づき活動することができる個人又は機関によりこうして変形された著作物又はその複製の他国からの輸入。

第 16 条: 著作物の複製作成及び頒布に関する権利保有者への通知

締約国は、第5条、第6条、第7条及び第8条に基づく制限及び例外の受益者のために著作物について複製の作成及び頒布が行われる場合には、かかる事実が権利保有者に通知されるべく合理的な努力が尽くされるよう確保しなければならない。当該通知には次に掲げる項目が記載されなければならない。

1. 著作物を複製し及び頒布する権利を行使する当事者の名前、郵便物宛先住所、及び関連する連絡先情報。
2. 著作物の使用の性質（著作物が頒布される国及びその頒布の条件を含む）。

第 17 条: 著作物の利用可能性に関するデータベース

- (a) 世界知的所有権機関はインターネット及びその他の手段により利用が可能なデータベースで、この条約第16条の通知義務の順守を容易にすることを目的とした著作権所有者による著作物の自発的確認を可能にし及び障害者が知覚できる形態による著作物の利用性(入手性)に関する著作権所有者による情報の提供を可能にするものを創設するものとする。
- (b) 発行者及び関係者との協議の後に、世界知的所有権機関は、データベースに個別的に登録された著作物を識別するため、標準的機械可読コードがデータベースに含まれるよう確保しなければならない。

第 18 条: 著作物の商業的利用に対する補償金

- (a) 第5条(c)(3)の規定を実施するに際し、締約国は、自発的合意に至らない場合において著作権所有者に対して支払うべき適切な補償金の水準を決定するメカニズムを確保しなければならない。第5条(c)(3)の規定に基づく適切な補償金を決定するに当たっては、下記の原則が守られなければならない。
- (b) 権利保有者は、(c)の規定にて掲げる要件を条件として、著作物が使用される国、国民及び目的に通常付随する条件に関して、著作物に関する通常の商業的な許諾権付与として妥当な補償金を受ける権利を有すべきであること。

- (c) 開発途上国においては、例外及び制限の受益者の所得格差を踏まえた上で、手が届く価格にて著作物の利用機会が提供されなければならないことを確保する必要がある、補償金はかかる必要性も考慮すべきであること。
- (d) 例外の対象となる著作物について(a)の規定に基づく補償金の放棄の可否を決定するのは国内法の問題であること。
- (e) 国境を越えて著作物を頒布する者は、補償金のメカニズムがこの条約の要件を満たす場合でかつ透明性に関する著作権保有者の正当な懸念に対処するものである場合において、補償金が、全世界に頒布される著作物にかかる世界的な許可、又は特定の諸国における著作物の使用に関する、国、使用者及び使用目的に焦点を当てた許可のいずれかについて妥当であると判断されるときは、単一国において補償金の支払いを登録する選択権を有すべきであること。

第 19 条: 権利者不明著作物

- (a) 著作者若しくは著作権保有者が把握できない著作物又は通知に対して著作者若しくは著作権保有者から回答が行われない著作物に関する一定の商業的使用について補償金を支払う必要性の有無を決定するのは国内法の問題である。
- (b) 権利保有者が把握できない又は通知に対して回答を行わない場合、著作物の使用責任は使用の日から24ヶ月を超えてはならないものとする。

第 20 条: プライバシーの尊重

この条約の実施に当たって、締約国は、受益者、とりわけ視覚障害者のプライバシーを他のすべての者と平等に保護しなければならない。

第 21 条: この条約の対象となる障害

- (a) この条約の適用上、障害者とは、視覚障害のある者又は身体的、精神的、感覚的又は認知的(知的)能力が欠如した者を意味する。
- (b) 締約国は、他の障害のある者で、かかる障害を理由にして、障害を持たない者と同じ程度に十分に著作物の利用機会を確保するために第4条に基づき作成が可能な機会提供可能フォーマットを必要とする者に対して、この条約の諸条項を拡大適用していかなければならない。

第 22 条: 締約国会議

- (a) この条約の締約国により締約国会議を設置するものとする。締約国会議は、この条約に関し全権を有す最高の機関となる。
- (b) 締約国会議の通常会合は5年に一度開催されなければならない。締約国の少なくとも4分の1が決定し又は締約国の少なくとも4分の1から要請がある場合には、臨時総会を開催することができる。
- (c) 締約国会議はその手続規則を採択しなければならない。
- (d) 締約国会議の機能として特に次の事項を挙げることができる。
 - 1. この条約の諸条項の実施又は変更の充実に資するため可能な手段（選択議定書の作成を含む）について検討を加えること。
 - 2. この条約の目的を推進するために必要であると締約国会議が判断するその他の措置をとること。

第 23 条: 選択議定書

締約国は、例えば次のような措置に対処するためこの条約の議定書を提案する権利を有すものとする。

- 1. 著作物及び通信の利用機会を高めるための標準、相互運用要件又は規制上の措置に関する促進を目的とした調和のとれた義務又は提供。
- 2. 著作物のデジタル化及び頒布を支援するための協同資金拠出。
- 3. 知識及び通信に関する利用機会均等性を高めるために必要となるその他の措置。

第 24 条: 監視及び実施

世界知的所有権機関は、この条約に関する単一又は複数の研究の資金源とするため、締約国からの任意の分担金及びその他の寄付金の提供を3年ごとに募るものとする。

最終規定

第 25 条: 条約の締約国となること

- (1) 世界知的所有権機関の加盟国は、次の手段によりこの条約の締約国となることができる。
 - (i) 署名の後に批准書を寄託すること。
 - (ii) 加入書を寄託すること。
- (2) 批准書又は加入書は世界知的所有権機関の事務局長に寄託されなければならない。

第 26 条: 条約の発効

- (1) この条約は、十の国の批准書又は加入書が寄託された後三箇月で効力を生ずるものとする。
- (2) (1)の規定に基づく条約発効時に締約国となっていない国は、当該国による批准書又は加入書の寄託の三箇月後より条約に拘束されるものとする。

第27条: 留保

いずれの締約国もこの条約第5条c(3)の規定を適用しない旨を宣言することができる。

第 28 条: 廃棄

- (1) いずれの締約国も世界知的所有権機関の事務局長に宛てた通告により、この条約を廃棄することができる。
- (2) 廃棄は当該通告の事務局長による受領の後三箇月で効力を生ずるものとする。

第 29 条: 署名及び言語

- (1) この条約は、英語、フランス語及びスペイン語による原本一通について署名し、かつ国際連合の他の公用語（アラビア語、中国語及びロシア語）による公定訳文を作成し、これら六の言語版がひとしく正文となる。
- (2) この条約は、XXXX年12月31日までジュネーブにおいて署名のために開放しておく。

第30条: 寄託者の任務

- (1) この条約の原本は、署名のために開放されなくなった時点において、世界知的所有権機関の事務局長に寄託されるものとする。
- (2) 事務局長は、この条約にかかる自らが認証する謄本をすべての締約国に対して送付するものとする。
- (3) 世界知的所有権機関の事務局長はこの条約を国際連合事務局に登録するものとする。
- (4) この条約に改正があった場合、世界知的所有権機関の事務局長は、すべての締約国政府に対し、及び要請があつたときは他の国の政府に対し、改正版の認証謄本二通を送付するものとする。

第31条: 通告

世界知的所有権機関の事務局長は、すべての世界知的所有権機関加盟国政府に対し次の項目に関する通告を行うものとする。

- (i) 第29条に基づく署名。
- (ii) 第25条に基づく批准書又は加入書の寄託。
- (iii) この条約の発効日。
- (iv) 第27条に基づいてなされた留保。
- (v) 第28条に基づいて受領した廃棄。

[文書の終了]

Standing Committee on Copyright and Related Rights

Twentieth Session

Geneva, June 21–24, 2010

Draft WIPO Treaty on Exceptions and Limitations for the Disabled,
Educational and Research Institutions, Libraries and Archive Centers

Proposal by the African Group

Preamble

The Contracting Parties,

Recalling the principles of non-discrimination, equal opportunity and access, proclaimed in the United Nations Convention on the Rights of Persons with Disabilities;

Acknowledging the right of everyone to education, as recognized in the International Covenant on Economic, Social and Cultural Rights;

Noting that the International Covenant on Civil and Political Rights guarantees the right to freedom of expression, including freedom to seek, receive and impart information and ideas of all kinds, regardless of frontiers, either orally, in writing or in print, in the form of art, or through any other media of his choice;

Considering that equal access to education, culture, information and communication is a fundamental right that comes under public policy;

Recognizing the important role played by the authorities in guaranteeing equal opportunity for all in terms of access to education, culture and information;

Mindful of the role played by educational and research institutions, libraries and public archives in popularizing, disseminating, promoting and preserving the cultural and scientific heritage;

Prompted by a desire to contribute to the implementation of the relevant recommendations of the Development Agenda of the World Intellectual Property Organization;

Mindful of the obstacles that are prejudicial to human development and the fulfillment of disabled persons with regard to education, research, access to information and communication;

Acknowledging the need to seek, receive and impart information and ideas through any media and regardless of frontiers,

Aware that national copyright legislation is territorial in nature, and where activity is undertaken across jurisdictions, uncertainty regarding the legality of that activity undermines the development and use of new technologies and services that can potentially improve the lives of persons with disabilities and all those who do not have the means to access education, culture and information;

Mindful of the need to safeguard public interests by introducing imperative exceptions and limitations from which no exemption can be provided by any national or international legal provision;

Recognizing the urgent need to broaden the scope of copyright exceptions and limitations for disabled persons, libraries, archives, education and research;

Recognizing the need to introduce new international rules in order to provide adequate solutions to the needs of vulnerable persons and the challenges and opportunities presented by economic, social, cultural and technological developments;

Recognizing the need to maintain a balance between the rights of authors and the larger public interest, particularly in education, research and access to information;

Underscoring the importance of guaranteeing that developing countries enjoy and continue to enjoy access to flexibilities and exceptions without any legal or technical hindrances;

Acknowledging the urgent need to take up a major challenge in terms of international law, namely the development of a global approach to exceptions and limitations;

Hereby agree on the following:

Article 1: Definitions

For the purposes of this Treaty:

“Work” means any original or derived production of an artistic, literary, dramatic, musical or scientific type, regardless of the mode, format or form of expression, which could be protected by copyright, even if such protection has expired.

“Owner of copyright” includes any physical person or legal entity, who is the author of the work, who enjoys exclusive rights in the exploitation of his work when protection still applies or when copyright does not subsist or no longer subsists.

“Exclusive rights” mean any rights provided in accordance with the agreements identified in Article 4, and include the rights of reproduction, adaptation, distribution and communication by wire or wireless means to the public.

“Accessible format” means an alternative manner or form which gives a person suffering from a disability listed in Article 18 of this Treaty access to the work, as flexibly and comfortably as a person without a disability.

“Accessible formats” shall include, but not be limited to, large print, with different typefaces and sizes all being permitted according to need, Braille, audio recordings, digital copies compatible with screen readers or refreshable Braille and audiovisual works with audio description.

“Copyright” means all economic and moral rights that an author has in his works.

“Database” means a collection of independent works, data or other materials, which are arranged in a systematic or methodical way, and are individually accessible by electronic or other means.

“Archives” mean non-profit establishments with a public vocation, which serve as depositories for works dealing with all types of knowledge of nations and peoples, including cultural heritage, with a view to the furtherance of knowledge useful for education, teaching, research and the public interest.

“Libraries” mean non-profit establishments with a public vocation, which make available free of charge works dealing with all types of knowledge of nations and peoples, including cultural heritage, with a view to the furtherance of knowledge useful for education, teaching, research and the public interest.

“Bodies” refer to those identified in Article 2 of this Treaty.

Article 2: Purpose

This Treaty sets out the minimum elements of flexibility to be included in national copyright legislation, with a view to allowing the following beneficiaries to access protected works:

- Persons suffering from disabilities listed in Article 21;
- Educational and research institutions;
- Libraries;
- Archive centers.

Article 3: Nature and scope of obligations

- (a) Contracting Parties shall agree to undertake appropriate measures to ensure full and equal access to information and communication for the persons and bodies covered in Article 2.
- (b) Contracting Parties shall give effect to the provisions of this Treaty;
- (c) Contracting Parties shall be free to determine the appropriate method of implementing the provisions of this Treaty;
- (d) Contracting Parties shall agree to apply the Treaty transparently, taking into account the priorities and special needs of developing countries as well as the different levels of development of the Contracting Parties.
- (e) Contracting Parties shall ensure that the implementation allows for timely and effective exercise of authorized actions covered by this Treaty, including expeditious procedures that do not in themselves create barriers to legitimate uses, are fair and equitable, and are not unnecessarily complicated or costly, or entail unreasonable time, time-limits or unwarranted delays.

Article 4: Relations with other international instruments

- (a) Contracting Parties shall agree that the provisions of this Treaty are consistent with obligations set out under those of the following treaties and conventions to which they are a party:
 1. the Berne Convention for the Protection of Literary and Artistic Works (the Berne Convention);
 2. the WIPO Copyright Treaty, 1996 (WCT);
 3. the International Convention for the Protection of Performers, Producers of Phonograms and Broadcasting Organizations, done at Rome, October 26, 1961 (Rome Convention);
 4. the WIPO Performances and Phonograms Treaty, 1996 (WPPT);
 5. the Agreement on Trade-Related Aspects of Intellectual Property Rights, 1994 (TRIPS Agreement);

6. the UNESCO Convention on the Protection and Promotion of the Diversity of Cultural Expressions; and
 7. the United Nations Convention on the Rights of Persons with Disabilities;
- (b) Contracting Parties agree that, to the extent that this Treaty applies to literary and artistic works as defined in the Berne Convention, it is a special agreement within the meaning of Article 20 of that Convention, as regards Contracting Parties that are member countries of the Union established by that Convention.

Article 5: Limitations and exceptions to copyright

For persons with disabilities

- (a) It shall be permitted without the authorization of the owner of copyright to make an accessible format of a work, supply that accessible format, or copies of that format, to disabled persons by any means, including by non-commercial lending or electronic communication by wire or wireless means, without the authorization of the owner of copyright, and undertake any other intermediate steps to achieve these objectives, when all of the following conditions are met:
1. the person or organization wishing to undertake any activity under this provision has lawful access to that work or a copy of that work;
 2. the work is converted to an accessible format, which may include any means needed to navigate information in the accessible format, but does not introduce changes other than those needed to make the work accessible to disabled persons;
 3. copies of the work are supplied exclusively to be used by disabled persons;
 4. the activity is undertaken on a non-profit basis;
 5. the owner of the right is recognized as such.
- (b) A disabled person to whom a work is communicated by wire or wireless means as a result of activity under paragraph (a) shall be permitted without the authorization of the owner of copyright to copy the work exclusively for his or her own personal use. This provision shall be without prejudice to any other limitations and exceptions that the person in question is able to enjoy.
- (c) The rights under paragraph (a) shall also be available to for profit-entities and shall be extended to permit commercial rental of copies in an accessible format, if any of the following conditions are met:
1. the activity is undertaken on a for-profit basis, but only to the extent that those uses fall within the normal exceptions and limitations to exclusive rights that are permitted without remuneration to the owners of copyright;
 2. the activity is undertaken by a for-profit entity on a non-profit basis, only to extend access to works to disabled persons; or

3. the work or copy of the work that is to be made into an accessible format is not reasonably available in an identical or largely equivalent format enabling access for disabled persons, and the entity providing this accessible format gives notice to the owner of copyright of such use and adequate remuneration for copyright owners is available.
- (d) In determining whether a work is reasonably available according to (c)(3), the following criteria shall be considered:
1. for developed economies, the work must be accessible and available at a similar or lower price than the price of the work available to persons who are not disabled; and
 2. for developing countries, the work must be accessible and available at prices that are affordable, taking into account disparities in income levels for disabled persons.

Article 6: *Reproduction for private use and research*

- (a) Contracting Parties shall agree to undertake appropriate measures without the authorization of the right holder to reproduce a work for private use and for research purposes.
- (b) Permissible use shall include the reproduction of all or a substantial part of a work without adequate compensation for the right holder.
- (c) The source and author of the work shall be sufficiently known.

Article 7: *Educational and research institutions*

- (a) It shall be permitted, without the authorization of the right holder, to make limited copies of published and unpublished works, regardless of their format, for purposes of education and scientific research.
- (b) Copies of the work referred to in paragraph (a) shall be for non-profit use or in the public interest, and shall not unreasonably prejudice the legitimate interests of the right holder.
- (c) This authorization shall cover distance learning.
- (d) It shall be permitted for educational and research institutions to make copies of works acquired legally, without the authorization of the right holder.
- (e) It shall be permitted for educational and research institutions to make copies of orphaned works, where the right holder cannot be identified or located, for the purposes and on the conditions referred to under paragraph (b).
- (f) It shall be possible for the educational and research institutions covered by this Treaty to circumvent measures for the technical protection of works.
- (g) The beneficiaries of this Treaty and persons acting on their behalf shall not bear responsibility if they have acted in good faith, believing or having reasonable grounds to believe that they have acted in accordance with copyright.

Article 8: *Libraries and archives*

- (a) It shall be permitted to make limited copies of published and unpublished works, regardless of their format, to meet the needs of libraries and archives, without the authorization of the owner of copyright;

- (b) The copies of the work referred to in paragraph (a) shall be used solely to meet the needs of teaching, scientific research, and preservation of cultural heritage;
- (c) The copies referred to in paragraph (a) shall be made for non-profit uses, in the general interest of the public and for human development, without conflicting with the normal exploitation of the work or unreasonably prejudicing the legitimate interests of the author; this activity may be exercised *in situ* or remotely;
- (d) It shall be permitted for libraries and archives services to make copies of works acquired legally, without the authorization of the right holder;
- (e) It shall be permitted for libraries and archive services to make copies of orphaned works, where the right holder cannot be identified or located, for the purposes and on the conditions referred to in paragraph (b);
- (f) It shall be permitted for the libraries and archive services covered by this Treaty to circumvent measures for the technical protection of works;
- (g) The beneficiaries of this Treaty and persons acting on their behalf shall not bear responsibility if they have acted in good faith, believing or having reasonable grounds to believe that they have acted in accordance with copyright.

Article 9: Computer programs

Contracting Parties shall agree to provide for exceptions and limitations relating to computer programs to allow interoperability, replacement or support.

Article 10: Limitations and exceptions to neighboring rights

Rights recognized for the performer, the producer of phonograms or videograms and sound or audiovisual broadcasting bodies shall be subject to the same exceptions and limitations to exclusive copyright provided for in Articles 5, 6, 7 and 8.

Article 11: Quotation

- (a) Contracting Parties shall agree to undertake appropriate measures to allow the use of works protected by copyright that have already been made public for purposes of quotation.
- (b) Quotations shall supply the source and name of the author of the work.

Article 12: Recognition and moral right

- (a) When a work or copy of a work is supplied to the beneficiaries referred to in Article 2 above, mention shall be made of the source, and of the name of the author as it appears on the work or copy of the work to which the person or organization acting under Articles 5, 6, 7 and 8 has lawful access.
- (b) Use as permitted by Articles 5, 6, 7 and 8 shall be without prejudice to the exercise of moral rights.

Article 13: Circumvention of technical measures

Contracting parties shall ensure that beneficiaries of the exceptions and limitations listed in Article 2 have the means to enjoy the exception where technical protection measures have been applied to a work, including when necessary the right to circumvent the technical protection measure so as to make the work accessible.

Article 14: Relationship with contracts

- (a) Any contractual provisions which provide exemptions from the application of the limitations and exceptions listed in Article 2 shall be null and void.
- (b) This Treaty shall not apply retroactively to contractual relationships entered into prior to the entry into force of the said Treaty.
- (c) The effects of the principle referred to in paragraph (a) shall apply as of the date of entry into force of this Treaty.

Article 15: Imports and exports of works

Contracting Parties shall ensure that imports and exports of works meet the conditions listed in Articles 5, 6, 7 and 8, and shall take the necessary steps for this to be permitted without the authorization of the owner of copyright;

1. the export to another country of any version of a work or copies of the work that any person or organization in one country is entitled to possess or make under Articles 5, 6, 7 and 8; and
2. the import of that version of a work or copies of the work by a person or organization able to act under the provisions of Articles 5, 6, 7 and 8 into another country.

Article 16: Notice to right holders for reproduction and distribution of works

Contracting Parties shall ensure that in cases involving the reproduction and distribution of works for the beneficiaries of the limitations and exceptions under Articles 5, 6, 7 and 8, reasonable efforts shall be made to provide notice of this fact to the owner of the right. Such notice shall include the following:

1. the name, postal address and relevant contact information of the party exercising its right to reproduce and distribute works;
2. the nature of the use of the work, including the countries where the work is distributed and the terms under which the works are distributed.

Article 17: Database on availability of works

- (a) WIPO shall create a database that is accessible through the Internet and other means that will allow copyright owners to identify works voluntarily for purposes of facilitating compliance with the notices obligations in Article 16 of this Treaty, and to provide information regarding the availability of a work in forms enabling its perception by disabled persons.

- (b) After consultation with publishers and stakeholders, WIPO should ensure that the database includes a standard machine readable code to identify uniquely works registered in the database. This code shall be suitable for use for published works in a variety of formats.

Article 18: Remuneration for commercial exploitation of works

- (a) When implementing Article 5(c)(3), Contracting Parties shall ensure that there is a mechanism for determining the level of adequate remuneration to be paid to the owner of copyright in the absence of voluntary agreement. In determining adequate remuneration under Article 5(c)(3), the following principles shall be observed:
 - (b) Right owners shall be entitled to remuneration that is reasonable for normal commercial licensing of works, regarding the terms normally associated with the country, population and purposes for which the work is used, subject to the requirements of paragraph (c) below;
 - (c) In developing countries, remuneration should also take into consideration the need to ensure that works are accessible and available at prices that are affordable, taking into account disparities in income levels for the beneficiaries of the exceptions and limitations;
 - (d) It shall be a matter of national law to determine if remuneration under (a) is waived for the works covered by the exception;
 - (e) Persons who distribute works across borders shall have the option of registration for remuneration payments in a single country, if the mechanisms for remuneration meet the requirements of this Treaty and address the legitimate concerns of the copyright owners in terms of transparency, and remuneration is considered reasonable either for a global license for works that are distributed globally, or for a license to use works in specific countries, calibrated for the countries, users and purposes of such use.

Article 19: Orphaned works

- (a) It shall be a matter for national law to determine whether certain commercial uses of works for which the author or copyright owner cannot be identified or who do not respond to notices require payment of remuneration.
- (b) In cases where right owners cannot be identified or do not respond to notices, liability for uses of works shall not exceed 24 months from the date of use.

Article 20: Respect for privacy

In implementing this Treaty, Contracting Parties shall protect the privacy of the beneficiaries, in particular that of persons who are visually impaired, on an equal basis with all others.

Article 21: Disabilities covered by this Treaty

- (a) For the purposes of this Treaty, a disabled person means any person suffering from visual impairment or a physical, mental, sensory or cognitive incapacity.
- (b) Contracting Parties shall extend the provisions of this Treaty to persons with any other disability who, due to that disability, need an accessible format of a type that could be made under Article 4 in order to access a copyright work to substantially the same degree as a person without a disability.

Article 22: Conference of the Parties

- (a) A Conference of Parties shall be established among the States Parties to this Treaty. The Conference of Parties shall be the plenary and supreme body of this Treaty.
- (b) The Conference of Parties shall meet in ordinary session once every five years. It may meet in extraordinary session if it so decides or upon request to that effect from at least one-quarter of the Parties.
- (c) The Conference of Parties shall adopt its own rules of procedure.
- (d) The functions of the Conference of Parties shall be, inter alia:
 - 1. to consider possible measures to enhance the implementation or modify the provisions of this Treaty, including the development of optional protocols; and
 - 2. to take whatever other measures it may consider necessary to further the objectives of this Treaty.

Article 23: Optional protocols

Contracting Parties shall have the right to propose optional protocols for this Treaty, to address measures such as:

- 1. harmonized obligations or offers to promote standards, interoperability requirements, or regulatory measures to enhance access to works and communications;
- 2. joint funding to support the digitalization and distribution of works; or
- 3. other measures that are necessary to achieve greater equality of access to knowledge and communications.

Article 24: Monitoring and implementation

Every three years WIPO shall solicit voluntary contributions from Contracting Parties and other possible donors in order to finance one or more studies of the implementation of this Treaty.

Final provisions

Article 25: Becoming Party to the Treaty

- (1) Any State member of WIPO may become party to this Treaty by means of:
 - (i) signature followed by the deposit of an instrument of ratification;
 - (ii) deposit of an instrument of accession.
- (2) Instruments of ratification or accession shall be deposited with the Director General of WIPO.

Article 26: Entry into force of the Treaty

- (1) This Treaty shall enter into force three months after 10 instruments of ratification or accession by States have been deposited.
- (2) Any State which does not become party to this Treaty upon entry into force under paragraph (1) shall become bound by this Treaty three months after the date on which such a State has deposited its instrument of ratification or accession.

Article 27: Reservations

Any Contracting Party may declare that it will not apply the provisions of Article 5.c(3) of this Treaty.

Article 28: Denunciation

- (1) Any Contracting State may denounce this Treaty by notification addressed to the Director General of WIPO.
- (2) Denunciation shall take effect six months after receipt of the said notification by the Director General.

Article 29: Signature and languages

- (1) This Treaty shall be signed in a single original in the English, French and Spanish languages, and shall be official in the other official languages of the United Nations (Arabic, Chinese and Russian), all six texts being equally authentic.
- (2) This Treaty shall remain open for signature at Geneva until December 31, xxxx

Article 30: Depositary functions

- (1) The original of this Treaty, when no longer open for signature, shall be deposited with the Director General of WIPO.
- (2) The Director General of WIPO shall transmit a copy, certified by him, of this Treaty to the Governments of all Contracting States.
- (3) The Director General of WIPO shall register this Treaty with the Secretariat of the United Nations.
- (4) The Director General of WIPO shall transmit two copies, certified by him, of any amendment to this Treaty to the Governments of all Contracting States and, on request, to the Government of any other State.

Article 31: Notifications

The Director General of WIPO shall notify the Governments of all WIPO Member States of:

- (i) signatures under Article 29;
- (ii) deposits of instruments of ratification or accession under Article 25;
- (iii) the date of entry into force of this Treaty;
- (iv) any reservations made under Article 27;
- (v) any denunciations received under Article 28.

[End of document]

※この資料は、文化庁からの依頼により、(株)日本翻訳センターが公表資料を和訳したものです。参考のための仮訳であり、条文の解釈に影響を与えるものではありません。

E



SCCR/20/12
原本: 英語
日付: 2010年6月17日

著作権及び著作隣接権に関する常設委員会

2010年6月21-24日、ジュネーブ
第12回会合

著作権により保護されている著作物にかかる読書障害のある者のための機会提供改善に関する共同勧告草案

欧州連合代表部による提案

著作権により保護されている著作物にかかる読書障害のある者のための機会提供改善に関する共同勧告草案

[]において次の総会により採択された。

文学的及美術的著作物保護万国同盟（ベルヌ同盟）総会、著作権に関する世界知的所有権機関条約総会、及び世界知的所有権機関加盟国総会

前文

社会のあらゆる分野における機会均等性の達成を確保する重要性を認識し、

教育及び文化への均等な提供機会に関する障害を減少させるため、機会提供可能フォーマット(形態/書式)となっている著作物に対する機会提供を改善する必要性を考慮し、

それ自身が著作物の使用の障害を構成する読書障害のある者に対する著作物の機会提供を容易にするために及び機会提供可能フォーマットに特段の注意を払うために必要なあらゆる措置を採択することが構成国にとって重要であることを考慮し、

読書障害のある者のための例外及び制限の問題に関する世界知的所有権機関の「著作権及び著作隣接権に関する常設委員会」内における議論並びに構成国により提出された様々な提案を考慮し、

文学的、科学的及び美術的著作物の創作にかかる促進策としての、並びに誰もがコミュニティの文化的生活に参加し、芸術・美術品を楽しみ、並びに科学的な進歩及び利益を共有するための機会を確保するための手段としての、著作権の保護の重要性を認識し、

読書障害のある者に対して市場が著作物にかかる適当な提供機会を提供できない範囲において、かかる提供機会を改善するための代替的手段が必要であると認識される点を考慮し、

『ベルヌ条約』及び『著作権に関する世界知的所有権機関条約』に反映された知的所有権に関する国際制度の均衡が、読書障害のある者のための著作物の効果的かつ適時の提供機会を容易にすべきことを考慮し、

文学的及美術的著作物保護万国同盟（ベルヌ同盟）総会、著作権に関する世界知的所有権機関条約総会、及び世界知的所有権機関加盟国総会は、次の共同勧告を採択した。

この共同勧告の目的は、何らの適当な商業的生産物が提供されていない範囲において、読書障害のある全世界の諸国民による利用が可能な機会提供可能フォーマット(形態/書式)となっている著作物の数及び範囲を増加させることにある。諸規定は、複製作成の権利、頒布の権利及び著作物を公衆に供与する権利に対して、『著作権に関する世界知的所有権機関条約』第8条にて定義する例外を、すべての構成国がその国内著作権法の中に設けることを想定してたものとなっている。この例外は、特有の読書障害に要求される範囲において、読書障害と直接に関連する、非商業的性質を持つ使用を対象にしたものとなっていなければならない。

この共同勧告は世界の信任仲介者に関する世界的相互承認制度を勧告して実際の取り組みを育成するものである。信任仲介者が未だ存在しない場合においては、構成国には、自国領土内に当該機関が少なくとも1つ設置されるよう助力を提供することが奨励される。

目次

共同勧告...

第 1 条: 定義

第 2 条: 読書障害のある者のための例外

第 3 条: 信任仲介者の設置

第 4 条: 著作権の例外に基づき生産される機会提供可能フォーマットとなっている物理的著作物の国境を越えた移動

第 5 条: 著作権の例外に基づき生産される機会提供フォーマットとなっている著作物にかかる国境を越えた公衆への供与

第 6 条: 著作物の使用に関する権利保有者への通知

第 7 条: 著作物に関するオンライン上の国際的機会提供サービスの開発

第 8 条: 機会提供を可能にするテクノロジーの枠組みの促進

第 9 条: 構成国の意識向上

共同勧告

文学的及美術的著作物保護万国同盟（ベルヌ同盟）総会、著作権に関する世界知的所有権機関条約総会、及び世界知的所有権機関加盟国総会は、

『文学的及び美術的著作物の保護に関するベルヌ条約』（ベルヌ条約）及び『著作権に関する世界知的所有権機関条約』の諸規定を考慮に入れて、

『世界人権宣言』及び『障害者の権利に関する国際連合条約』を考慮し、

『ベルヌ条約』の各同盟国又は世界知的所有権機関の各加盟国、『著作権に関する世界知的所有権機関条約』の締約国並びに/又は世界知的所有権機関加盟国が自国の法令をこの勧告に沿ったものとするを勧告する。

第1条 定義

この勧告の規定の適用上、

- (i) "構成国"とは、『文学的及び美術的著作物の保護に関するベルヌ条約』の同盟国及び/又は『著作権に関する世界知的所有権機関条約』の締約国及び世界知的所有権機関加盟国を意味する。
- (ii) "読書障害のある者"とは、次のいずれかに該当する者を意味する。
 - a) 全盲者。
 - b) 矯正レンズの使用によっても改善する可能性の無い視覚機能の障害で、特別な水準又は種類の照明無しに普通に読書をする事ができない障害のある者。
 - c) 読字障害・失読症(dyslexic)の者。
 - d) 身体的な障害により書籍を持つこと又は扱うことができない者。
 - e) 身体的な障害により普通に読書をする事ができる範囲にまで自己の視覚の焦点を絞り又は視覚を移動させることができない者、障害により商業的に入手可能な著作物の標準的な版を読むことができない者、及び内容物の形態/書式再構成により読むことの手助けを受けることが可能な（但し、理解を容易にするために本文内容自体を簡単なものに書き換えることまでは必要としない）者。
- (iii) "機会提供可能フォーマット(形態/書式)となっている著作物"とは、発行時点又はその後における著作物の提供機会を読書障害のある者に対して提供できるよう、発行の前後においてそのフォーマット(形態/書式)に変更が加えられた印刷著作物について述べるために用いられる用語である。機会提供可能フォーマットに変更されることとなる著作物は適法に取得したものでなければならず、また形態/書式再構成は原著物の完全性を尊重したものでないなければならない。

- (iv) "信任仲介者"とは、その活動について読書障害のある者及び発行者等の権利保有者双方からの承諾を得なければならない認定機関である。信任仲介者は、統制された方法により、機会提供可能フォーマット(形態/書式)となっている著作物にかかる生産及び/又は国境を越えた移動を容易にする。

信任仲介者は次の条件を満たさなければならない。

- その運営が非営利ベースであること。
- サービスの提供対象となる読書障害のある者を登録すること。
- 訓練、教育、又は読書障害のある者による読書適合若しくは情報入手のニーズに関する特別なサービスを提供すること。
- サービスの提供対象となる読書障害のある者の善意の性質を定めるための方針と手続を維持すること。
- 著作権及びデータ保護の法律にかかる全面的かつ完全な順守を確保するための方針及び手続を維持すること。

信任仲介者が諸機関から構成される国内全域に亘るネットワークを有している場合、ネットワークの構成諸機関のすべては、上に掲げるすべての条件を満たさなければならない。

第2条

読書障害のある者のための例外

構成国は、読書障害のある者のために、複製作成の権利、頒布の権利及び著作物を公衆に供与する権利に対する『著作権に関する世界知的所有権機関条約』第8条にて定義する例外を、自国の国内著作権法の中に規定しなければならない。この例外は、特有の読書障害に要求される範囲において、読書障害と直接に関連する、非商業的性質を持つ使用を対象にしたものとなっていなければならない。

かかる例外は、著作物の通常の利用を妨げず、かつ、権利保有者の正当な利益を不当に害しない特別の場合にのみ適用できる。

構成国は、例外の対象となる著作物の利用に関して権利保有者が適切な補償金を受領するよう確保することができる。この請求権は、徴収管理団体を通じて行使することができる。

この勧告は、読書障害のある者のための十分かつ適切な市場解決策がある範囲にまで適用されるものではない。

第3条

信任仲介者の設置

構成国は、自国領土内に少なくとも1つの信任仲介者が設置されるよう奨励しなければならない。当該期間は第1条(iv)の規定にて掲げる条件を満たしていなければならない。また信任仲介者の地位について資格を与えなければならない。

第4条

著作権の例外に基づき生産される機会提供可能フォーマットとなっている物理的著作物の国境を越えた移動

構成国は、自国の国内法令にて定められた読書障害のある者のための例外に基づきある著作物が提供可能になる場合、かかる著作物の機会提供可能フォーマットとなっている複製物は、読書障害のある者のための例外を設けている構成国に、又は権利保有者から付与される特別の輸出許可を条件として信任仲介者を通じて他の構成国[=かかる例外を設けていない構成国]に頒布することが可能であることを認識しなければならない。

機会提供可能フォーマットとなっている著作物の複製は、上文の後段でいう構成国に居住する読書障害のある者に直接に頒布してはならず、その頒布は当該構成国に設置された信任仲介者を通じて行われなければならない。

第5条

著作権の例外に基づき生産される機会提供可能フォーマットとなっている著作物にかかる国境を越えた公衆への供与

構成国は、自国の国内法令にて定められた読書障害のある者のための例外に基づき著作物がオンライン上で供与される場合、機会提供可能フォーマットとなっているかかる著作物は、読書障害のある者のための例外を設けている構成国に向けて、又は権利保有者から付与される特別の輸出許可を条件として信任仲介者を通じて他の構成国[=かかる例外を設けていない構成国]に向けて、『著作権に関する世界知的所有権機関条約』第8条にて定めるオンライン上の供与を行うことが可能であることを認識しなければならない。

機会提供可能フォーマットとなっている著作物は、読書障害のある者が居住する構成国のためにかかる目的のために設置された信任仲介者を通ずることによってのみオンライン上で供与することが可能である。

第6条

著作物の使用に関する権利保有者への通知

機会提供可能フォーマットとなっている著作物について、第4条及び第5条に基づき読書障害のある者のために『著作権に関する世界知的所有権機関条約』第8条にて定義する複製の作成、頒布及び公衆への供与を行う場合において、信任仲介者は、当該著作物の使用前に権利保有者又は徴収管理団体に対して合理的期間内に通知を行わなければならない。当該通知には次に掲げる項目が記載されなければならない。

- i) 著作物にかかる複製の作成、頒布及び公衆への供与を行う当事者の名前、郵便物宛先住所、及び関連する通信連絡先情報。
- ii) 著作物の使用の性質（著作物が頒布され及び公衆に供与される国並びにその頒布及び公衆への供与の条件を含む）。
- iii) 使用が読書障害のある者に対し十分に制限されていないこと、又は著作物の通常の利用が妨げられること若しくは権利保有者の正当な利益が不当に害されることを根拠にした、権利保有者が使用について異議を唱える権利に関する情報。

第7条

著作物に関するオンライン上の国際的機会提供サービスの開発

構成国は、機会提供可能な著作物を掲載するオンライン上の国際的一覧表が作成されるよう奨励しなければならない。

第8条

機会提供を可能にするテクノロジーの枠組みの促進

構成国は、妥当な費用にて読書障害のある者に対する機会提供を可能にするテクノロジーの枠組みに関する設計及び開発を奨励しなければならない。

第9条

構成国の意識向上

構成国は読書障害のある者への著作物に対する機会提供に関する課題及び機会について、様々な関係者の意識を向上させなければならない。この関係者には、政府、発行者、テクノロジー及びソフトウェアの生産者、小売部門、図書館及び機会提供可能フォーマットを作成するその他の機関、並びに読書障害のある者を含む。

[文書の終了]

Standing Committee on Copyright and Related Rights

Twentieth Session

Geneva, June 21 to 24, 2010

Draft Joint Recommendation concerning the improved access
to works protected by copyright for persons with a print disability

Proposal by the Delegation of the European Union

Draft Joint Recommendation concerning the improved access to works protected by copyright for persons with a print disability

adopted by

the International Union for the Protection of Literary and Artistic Works (Berne Union) Assembly, the WIPO Copyright Treaty (WCT) Assembly, and the General Assembly of the World Intellectual Property Organization (WIPO) at the [____]

PREFACE

Recognizing the importance of accessibility to the achievement of equal opportunities in all spheres of society,

Considering the need to improve access to works in accessible formats in order to reduce obstacles to equal access to education and culture,

Considering that it is important for Member States to adopt all necessary measures to facilitate access to works by persons suffering from a print disability which constitutes an obstacle to the use of the works themselves and to pay particular attention to accessible formats,

Considering the discussions within the WIPO Standing Committee on Copyright and Related Rights on the issue of exceptions and limitations for the benefit of persons with a print disability and the various proposals tabled by Member States,

Aware of the importance of copyright protection as an incentive for literary, scientific and artistic creation, and as a mean to ensure that everyone has the opportunity to participate in the cultural life of the community, to enjoy the arts and to share in scientific advancement and its benefits,

Considering that, to the extent that the market is unable to provide an appropriate access to works for persons with a print disability, it is recognised that alternative measures are needed to improve such access.

Considering that the balance of the international system of intellectual property as reflected in the Berne Convention and in the WIPO Copyright Treaty (WCT) must facilitate effective and timely access to works for the benefit of persons with a print disability.

The International Union for the Protection of Literary and Artistic Works (Berne Union) Assembly, the WIPO Copyright Treaty (WCT) Assembly and the General Assembly of WIPO adopted the following Joint Recommendation.

The aim of this Joint Recommendation is to increase the number and range of accessible format works available to citizens with a print disability in the world to the extent that there is no appropriate commercial product on offer. The provisions are predicated on the basis that every Member State should introduce in their national copyright law an exception to the right of reproduction, the right of distribution and the right of making the work available to the public, as defined in Article 8 of the WCT. The exception should cover uses that are directly related to the

print disability to the extent required by the specific print disability, and that are of a non-commercial nature.

The Joint Recommendation fosters a pragmatic approach, recommending a global system of mutual recognition of Trusted Intermediaries in the world. Where Trusted Intermediaries do not yet exist, Member States are encouraged to help establish at least one such body for their territory.

CONTENTS

Joint Recommendation...

Article 1: Definitions

Article 2: Exception for the benefit of persons with a print disability

Article 3: Setting up of Trusted Intermediaries

Article 4: Cross-border transfer of physical works in accessible formats that are produced under a copyright exception

Article 5: Cross-border making available to the public of works in accessible formats that are produced under a copyright exception

Article 6: Notice to rights holders regarding the use of their works

Article 7: Development of an online international accessible works service

Article 8: Promotion of an enabling technology framework

Article 9: Member States awareness

Joint Recommendation

The International Union for the Protection of Literary and Artistic Works (Berne Union) Assembly, the WIPO Copyright Treaty (WCT) Assembly and the General Assembly of the World Intellectual Property Organization (WIPO),

Taking into account the provisions of the Berne Convention for the Protection of Literary and Artistic Works (Berne Convention) and the WCT,

Considering the Universal Declaration of Human Rights and the UN Convention on the Rights of Person with Disabilities,

Recommend that each Member State of the Berne Convention or of WIPO, Contracting Party of the WCT and/or Member State of WIPO brings its legislation into accord with this Recommendation.

Article 1

Definitions

For the purposes of these Provisions:

- (i) "Member State" means a State member of the Berne Convention for the Protection of Literary and Artistic Works and /or a Contracting Party of the WCT and the WIPO.
- (ii) "Person with a print disability" means any person:
 - a) who is blind; or
 - b) who has an impairment of visual function which cannot be improved, by the use of corrective lenses, to a level that would normally be acceptable for reading without a special level or kind of light; or
 - c) who is dyslexic; or
 - d) who is unable, through physical disability, to hold or manipulate a book; or
 - e) who is unable, through physical disability, to focus or move his eyes to the extent that would normally be acceptable for reading; and whose disability results in an inability to read commercially available standard editions of works; and who can be helped to read by reformatting the content (but, does not require the text itself to be re-written in simpler terms to facilitate comprehension);
- (iii) "Work in an accessible format" is the term used to describe a printed work the format of which is modified prior to publication or afterwards so that a person with a print disability can have access to that work at the time of or after publication. Any work which is to be modified into an accessible format must be lawfully acquired and the reformatting must respect the integrity of the original work.

- (iv) "Trusted Intermediary" is an approved institution whose activities must have the consent of both, persons with a print disability and rights holders such as publishers. Trusted Intermediaries facilitate the production of works in accessible formats, and/or their cross border transfer in a controlled manner.

Trusted Intermediaries should fulfill the following conditions:

- they operate on a not-for-profit basis;
- they register the persons with a print disability they serve;
- they provide specialized services relating to training, education, or adaptive reading or information access needs of persons with a print disability;
- they maintain policies and procedures to establish the bona fide nature of persons with print disabilities that they serve;
- they maintain policies and procedures to ensure full and complete compliance with copyright and data protection laws.

If the Trusted Intermediary is a nation-wide network of organizations, all organizations which are members of this network must fulfill all of the above-mentioned conditions.

Article 2

Exception for the benefit of persons with a print disability

Member States should provide in their national copyright law for an exception to the right of reproduction, the right of distribution and the right of making the work available to the public, as defined in article 8 of the WCT, for the benefit of persons with a print disability. The exception should cover uses that are directly related to the print disability to the extent required by the specific print disability and that are of a non-commercial nature.

Such exception may only be applied in certain special cases which do not conflict with a normal exploitation of the work and do not unreasonably prejudice the legitimate interests of the rightholder.

Member States may ensure that the rights holders receive an adequate remuneration for the use of their works covered by the exception. This claim may be exercised through a collective management society.

The recommendation is not of application to the extent that there are sufficient and adequate market solutions for persons with a print disability.

Article 3

Setting up of Trusted Intermediaries

Member States should encourage the setting up for their territory of at least one Trusted Intermediary. Such bodies should fulfill the conditions set out in Article 1(iv) and qualify for the status of Trusted Intermediary.

Article 4

Cross-border transfer of physical works in accessible formats that are produced under a copyright exception

Member States should recognize that if a work is made accessible under an exception provided for in their national legislation for the benefit of persons with a print disability, a copy of that work in an accessible format can be distributed to a Member State that has an exception for the benefit of persons with a print disability or, subject to a specific export license granted by the rights holder, through a Trusted Intermediary into another Member State.

A copy of the work in an accessible format may not be directly distributed to a person with a print disability resident in the latter Member State but must be distributed through a Trusted Intermediary established for that Member State.

Article 5

Cross-border making available to the public of works in accessible formats that are produced under a copyright exception

Member States should recognize that if a work is made available online under an exception provided for in their national legislation for the benefit of persons with a print disability, the work in an accessible format can be made available online, as defined in article 8 of the WCT, to a Member State that has an exception for the benefit of persons with a print disability or, subject to a specific export license granted by the rights holder, through a Trusted Intermediary into another Member State.

The work in an accessible format can only be made available online through a Trusted Intermediary established for that purpose for the Member State where the person with a print disability resides.

Article 6

Notice to rights holders regarding the use of their works

In cases involving the reproduction, distribution and the making available to the public, as defined in Article 8 of the WCT, of works in an accessible format for the benefit of persons with a print disability under Articles 4 and 5, the Trusted Intermediaries should provide notice within a reasonable time to the rights holders or to the collective management societies prior to any use of the work. Such notice shall include the following:

- i) the name, postal address and relevant telecommunications contact information of the party reproducing, distributing and making available to the public works;
- ii) the nature of the use of the works, including the countries where the work is to be distributed and made available to the public and the terms under which the work is to be distributed and made available to the public; and
- iii) information regarding his/her right to challenge the use, on the grounds that the uses are not sufficiently restricted to persons with a print disability, or that the use conflicts with a normal exploitation of the work or prejudices his/her legitimate interests.

Article 7

Development of an online International accessible works service

Member States should encourage the establishment of an online international catalogue listing accessible works.

Article 8

Promotion of an enabling technology framework

Member States should encourage the design and development of an enabling technologies framework so that these technologies become accessible to persons with a print disability at a reasonable cost.

Article 9

Member States awareness

Member States should raise awareness of the challenges and opportunities regarding access to works for persons with a print disability amongst a range of stakeholders including governments, publishers, technology and software producers, the retail sector, libraries and other organizations making accessible formats, and persons with a print disability.

[End of document]